

令和3年度
第3次静岡市ものづくり産業振興基本計画
実施状況報告書

経済局商工部 産業振興課

*** 目 次 ***

令和3年度 第3次静岡市ものづくり産業振興基本計画の実施状況等について	1
1 経 緯	1
2 基本計画の概要	1
3 実施状況等	2
(1) 方針ごとの実施状況	4
①方針1 企業の誘致と留置の推進	4
②方針2 新市場・販路開拓に対する支援	5
③方針3 新製品・技術開発等に対する支援	7
④方針4 中小企業の経営基盤・競争力の強化	8
⑤方針5 次代を担う多様な人材の育成	11
⑥方針6 伝統工芸技術の保存・継承	13
(2) 実施状況の総括	14
4 各事業の進実施状況管理個票	17

令和3年度 第3次静岡市ものづくり産業振興基本計画の実施状況等について

静岡市ものづくり産業振興条例（以下「条例」という。）第8条第7項の規定に基づき、次に掲げる事項について報告いたします。

1 経 緯

静岡市ものづくり産業振興基本計画（以下「基本計画」という。）は、平成23年3月に議員提案をもとに制定された条例を根拠とし、同条例第18条に規定する静岡市ものづくり産業振興審議会及び関係機関と連携を図りながら、平成24年7月、「多様な地域資源が連携するものづくり創造都市 静岡」を目標に掲げ策定しました。

その後、計画の進捗状況や社会経済情勢の変化を踏まえ、継続的にものづくり産業の振興を推進するため、第3次静岡市総合計画及び第2次静岡市産業振興プランとの整合を図り、平成27年3月に第2次基本計画を策定し、計画目標の達成に向け取り組んできました。

この第2次基本計画が平成31年3月に満了したことから、これまでの基本計画と同じく、条例の目的に定めるとおり「ものづくり産業の振興を総合的かつ計画的に推進し、もって地域経済の健全かつ持続的な発展及び市民生活の向上に寄与する」ことの達成に向けて、平成31年4月に第3次基本計画を施行しました。

2 基本計画の概要

基本計画については、条例に掲げる趣旨の具現化に向けたプロセスであることから、計画目標を支える6つの方針に基づき全21の事業を設けました。

根 拠 法 令	静岡市ものづくり産業振興条例第8条第1項（基本計画の策定等）
計 画 期 間	平成31～令和4年度（4か年度）
策 定 目 的	本市ものづくり産業の総合的かつ計画的な振興を図るため
計 画 構 成 等	(1) 計画目標 多様な地域資源が連携するものづくり創造都市 静岡 (2) 方 針 方針1 … 企業の誘致と留置の推進 方針2 … 新市場・販路開拓に対する支援 方針3 … 新製品・技術開発等に対する支援 方針4 … 中小企業の経営基盤・競争力の強化 方針5 … 次代を担う多様な人材の育成 方針6 … 伝統工芸技術の保存・継承 (3) 事 業 各事業の成果目標及び事業実績一覧表のとおり

基本計画の実施主体については、計画目標の達成に向けた事業を実施する担当課として、経済局商工部3課（産業政策課、産業振興課、商業労政課）に加え、男女共同参画課、高齢者福祉課、中山間地振興課、教育センターが基本計画の推進に取り組んでいます。

事業担当課では、方針や施策を踏まえるとともに、計画目標を達成するための成果目標のもとで、効率的かつ効果的な事業運営に努めました。

3 実施状況等

基本計画は、前項のとおり、計画目標の達成に向けて体系化が図られたものであるため、その実施状況にあたっては、一事業の実施状況を注視するだけでなく、計画目標を実現させるために掲げた方針の実施状況を捉えることで、計画全般を総合的に把握する必要があります。そのため、今回の報告では、図1のとおり、6つの方針を基本的な枠組みと捉えるとともに、6つの方針の中に位置付けられた各事業に関する実施状況をもとに、方針ごとの実施状況を把握しています。その後、それぞれの方針に関する実施状況を総合的に判断した結果をもとに、基本計画全体の実施状況を包括的に評価しています。

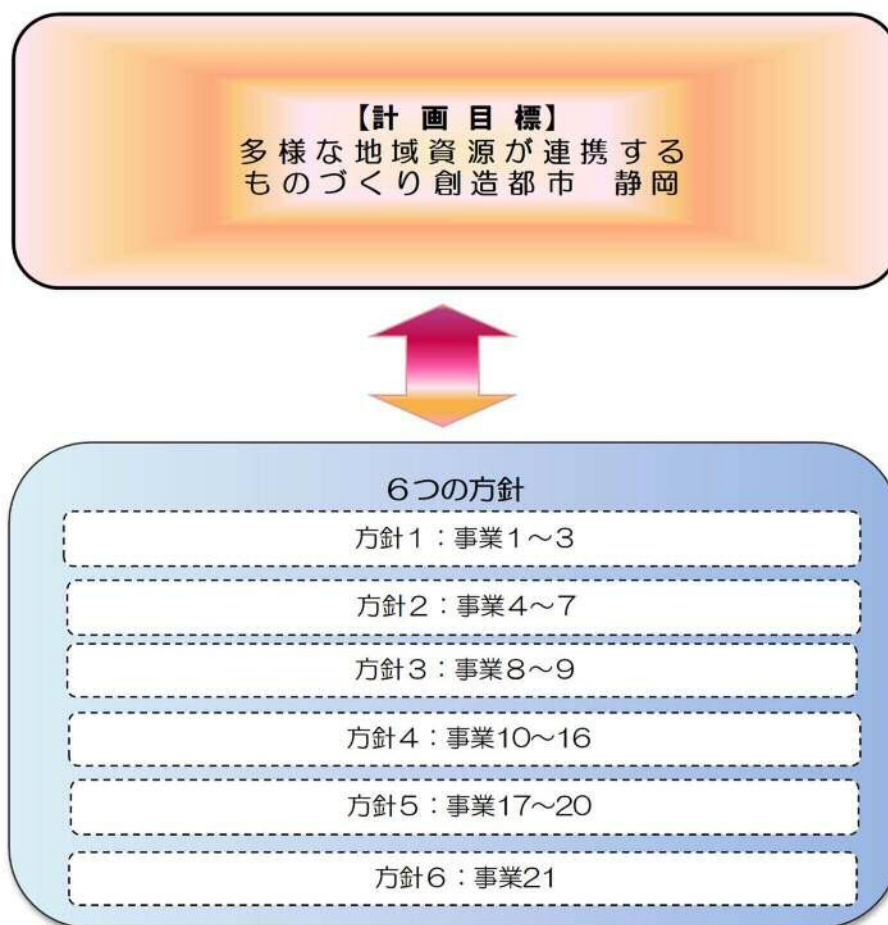


図1 基本計画体系図

各重点項目及び方針の実施状況を把握するため、各種事業の成果目標に対する達成状況等について、表1のとおり評価しています。なお、数値目標を設けている事業については、事務事業総点検表の評価基準に倣い、「S」から「C」までの4段階による評価を実施し、数値目標を設けていない事業については、「※」として区分しています。

事業評価	成果目標に対する達成状況等
S	期待を上回る（105%以上）
A	期待どおり（90%以上 105%未満）
B	期待を下回る（70%以上 90%未満）
C	期待を顕著に下回る（70%未満）
※	数値目標を設けていない

表1 成果目標に対する各種事業の達成状況等

その後、各種事業の成果目標に対する達成状況等を方針ごとに取りまとめ、方針別実施状況について表2のとおり評価しています。

方針別評価	方針別実施状況の評価
◎	期待を上回る（S+Aの割合が90%以上 100%以下）
○	期待どおり（S+Aの割合が70%以上 90%未満）
△	期待を下回る（S+Aの割合が50%以上 70%未満）
×	期待を顕著に下回る（S+Aの割合が50%未満）

表2 方針別実施状況の評価

(1) 方針ごとの実施状況

①方針1 企業の誘致と留置の推進

方針1については、表4のとおり、数値目標を設定している4事業2項目ともに「A」評価となったことから、方針別実施状況の評価を「◎（期待を上回る）」としています。

事業1の「企業立地の推進」については、市外企業の誘致、市内企業の留置に向けて、積極的な企業訪問を実施し、本市の立地優位性・ビジネス環境のPRや助成制度の情報発信を積極的に行うことで、企業立地の促進に努め、令和3年度は、テレワークの推進による地方移転ニーズを取り込むため、新たな助成制度を設けるとともに、情報発信等で県や東京事務所と連携し、首都圏からの企業誘致に成功するなど、新規企業立地の年間目標件数17件に対し、16件の立地に成功しました。今後は特に、コロナ禍における地方移転ニーズを捉え、企業が特に不安視する人材確保のサポート体制を整備するとともに、ニーズに合わせた助成制度の見直しを検討していきます。

また、事業3－(1)の「地域経済牽引事業」承認案件の企業立地支援については令和2年度から「電気機械器具製造業」や「食品・化粧品製造業」等の5分野の業種を対象に、上記事業計画の承認により市街化調整区域内への企業立地を可能とする新たな基準が設けられたため、前年度に引き続き、新たな設備投資を計画している企業に対し、同計画の作成を促しました。新型コロナウイルスの感染拡大による企業の設備投資意欲の減退等により、目標の10件に対して9件の認定となりました。今後は、令和3年度に実施した企業立地ニーズ調査結果を活用し、設備投資を検討している企業に対して個別に制度説明を行う等、制度の積極的な情報発信や新規事業の発掘を引き続き実施していくとともに、計画作成相談を受けた企業に対しては、個別に企業訪問等を行い企業と直接対話をしながら作成支援を行う等、きめ細やかに対応していきます。

方針・事業	成果指標	令和3年度 事業結果	事業評価
方針(1) 企業の誘致と留置の推進			
事業1 企業立地の推進	新規企業立地件数 17件	16件 (達成率：94%)	A
事業2 恩田原・片山土地区画整理事業 ★	組合、コーディネーターと連携 した企業立地の推進	－	※
事業3 地域未来投資促進法「地域基本計画」の推進 ★			
(1) 「地域経済牽引事業」承認案件の企業立地支援	地域経済牽引事業計画承認 件数：10件	9件 (達成率：90%)	A
(2) 「重点促進区域」の開発の実現化	開発の実現に向けた関係 部局との協議・調整	－	※

表3 方針1の実施状況等

②方針2 新市場・販路開拓に対する支援

方針2については、表5のとおり、数値目標を設定している5事業6項目のうち、「S」評価が4項目、「A」評価が2項目となったことから、方針別実施状況の評価を「◎（期待を上回る）」としています。

事業4の「全国規模等の見本市への出展助成等」については、市内中小製造事業者が全国的な規模の展示会や見本市に出展する際の小間料等を支援する「大規模展示会出展等事業補助金」による補助と、大規模な集客が見込まれる日本最大級の機械要素・加工技術を集めた専門技術展示会である「第26回 機械要素技術展（幕張メッセ）」に静岡市ブースを設け、市内製造事業者と共同で出展を行う「大規模展示会共同出展事業」に取り組みました。

「大規模展示会出展等事業補助金」については、主に金融機関を通じ制度の周知を実施、補助金の利用企業が目的意識を持ち各社出展を行ったことで目標とした商談成約率をおおむね達成することができました。新型コロナウイルス感染症の影響により、展示会の開催数や来場者数が減少しており、展示会出展成果の予想がコロナ禍以前よりも難しくなったことから、展示会出展に対する企業の姿勢は引き続き慎重です。今後は、従来の展示会出展に対する支援のみならず、販路開拓に繋がるノウハウの蓄積等も支援できる総合的な支援制度を検討していく方針です。

「大規模展示会共同出展事業」については、「第26回 機械要素技術展」に静岡市ブースを出展しました。新型コロナウイルスの影響も小さくなり新しい生活様式も定着した中で、来場者数は前年比で大幅に増加。オンライン展示会など新たな形態の販路開拓機会が増加する中ではありますが、製造業という業種の特性上、多様な技術が一堂に会し、現物を手に取り、技術に関する情報交換を行う機会はバイヤー等も貴重な機会と捉えており、各社目的意識を持った営業活動も相まって、目標を上回る商談成約率となりました。令和4年度においては引き続き「第27回 機械要素技術展（令和4年6月・東京ビッグサイト）」に出展し、市内企業の販路開拓支援を継続しています。

事業6－（1）の駿府楽市によるPR・販売促進支援については、JR静岡駅アスティ静岡西館「駿府楽市」内の静岡市特産品展示コーナーにおいて、年間26回の展示会を開催しました。目標の売上金額を大幅に上回ることができましたが、展示内容やPR方法が前例踏襲的であること、コロナ情勢に売上金額が左右されている部分が多い点が課題です。効果的な新型コロナウイルス感染症対策を図り、来場者が安全に鑑賞・購入できる環境を整備するとともに、駿府楽市の経営改善を踏まえた展示コーナー運営方法の再検討を行っていきます。

方針・事業	成果指標	令和3年度 事業結果	事業評価
方針(2) 新市場・販路開拓に対する支援			
事業4 全国規模等の見本市への出展助成等	商談に進んだ割合(名刺交換件数のうち商談に進んだ件数の割合) 大規模展示会出展等事業補助金①11% 大規模展示化共同出展事	①10.1% (達成率92%) ②14.4% (達成率147%)	①A ②S
事業5 首都圏におけるプロモーション強化			
(1) アンテナショップ開設事業 ★	静岡県中部連携中枢都市圏事業として①テストマーケティング業務、②農水産物販路拡大支援業務、③イベント実施業務を実施。	—	※
(2) ホビ－産業育成支援事業	「ホビ－のまち静岡」の認知度 30%	54% (達成率180%)	S
(3) 伝統工芸品等の展示販売会	新柄コロナウイルスの影響により中止	—	※
事業6 地場産品の販路開拓・販売促進			
(1) 駿府楽市によるPR・販売促進支援	隣接する駿府楽市での工芸品の年間売上金額 25,947千円	30,909千円 (達成率: 119%)	S
(2) 「しずおか特産品まつり」開催による販売促進支援 ★	来場者数5,200人	9,300人 (達成率: 179%)	S
(3) 「産業フェアしずおか」開催補助金	来場者数31,815人	来場者数30,600人 (達成率: 96%)	A
事業7 中小企業の海外展開に対する支援			
(1) 国際食品見本市の出展等による支援 ★	事業中止	—	※
(2) 海外で開催される見本市への出展助成等	商談成約率(名刺交換件数のうち商談に進んだ件数の割合) -%	— (新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、海外展示会に出展する企業は無かった)	※

注) ★印は第3次基本計画の策定に伴い新たに搭載された事業を示しています。

表5 方針2の実施状況等

③方針3 新製品・技術開発等に対する支援

方針3については、表6のとおり、数値目標を設定している4事業4項目のうち、事業評価が「A」となった事業が2項目、「C」となった事業が2項目であったことから、方針別実施状況の評価を「△（期待を下回る）」としています。

事業8－（1）の「新商品開発等に対する助成」においては、「新商品等開発事業補助金」を実施することにより中小製造事業者の開発意欲向上を図りました。新型コロナウイルス感染症の影響により低迷した業績回復に向けて、販路開拓と商品開発は事業者の主要課題であると考えられるため、周知活動を継続し申請件数増加に努めていきます。また今後は、従来の商品開発に対する支援のみならず、開発後の販路開拓に繋がるノウハウの蓄積等も支援できる総合的な支援制度を検討していく方針です。

事業8－（2）の「デザイナー等とのコラボレーションに対する支援」では、「ニューウェーブしずおか創造事業」を実施しました。地元の意欲的地場産業者が参加、プロデューサー指導のもと公募デザイナーとの協働により、デザイン開発を実施。試作を行い、PRツール等を作成しつつHP等で告知し、「東京インターナショナルギフトショー」に出展し販路開拓を行いました。開発点数は開発内容により大きく左右される部分も大きく、開発は充分に実施されていると捉えていますが、今後は開発品の一層の商品化を図っていく必要があると考えています。

方針・事業	成果指標	令和3年度 事業結果	事業評価
方針（3）新製品・技術開発等に対する支援			
事業8 新商品開発等に対する支援			
(1) 新商品開発等に対する助成	新商品等開発支援件数 7件	7件 (達成率100%)	A
(2) デザイナー等とのコラボレーションに対する支援	ニューウェーブしずおか創造 事業 開発点数30点	20点 (達成率：67%)	C
(3) 専門家の指導による新商品開発支援プロジェクトの実施	プロジェクト参加企業数6社	6社 (達成率：100%)	A
事業9 産業財産権出願に対する助成			
	産業財産権出願支援件数 13件	8件 (達成率62%)	C

表6 方針3の実施状況等

④方針4 中小企業の経営基盤・競争力の強化

方針4については、表7のとおり、数値目標を設定している14事業16項目のうち、事業評価「S」が10項目、「A」が4項目、「C」が2項目であったことから、方針別実施状況の評価を「○（期待どおり）」と評価しています。

事業10-（1）「事業高度化機械設備設置事業補助金」は、中小製造事業者に対して、生産性の向上を目的とする機械設備の設置費用に対して助成を行うことで、地域の産業の活性化及び高度化を図るものです。金融機関や支援団体等を通じて制度の周知を実施、申請手続きの支援を行うとともに課題のヒアリングも実施し、本補助金以外の支援にもつなげられるよう取り組みました。また、製造業全体において、生産性向上に加え、持続可能な社会の実現のために省エネへの取り組みが推進され、この事業環境変化への対応が課題となっています。令和4年度からは生産性向上に加え、省エネに資する機械設備の設置事業を補助対象とし、該当する事業には補助率を10%とする運用を行っています。

事業10-（4）「IT技術の活用・促進に関する検討」については、静岡商工会議所と連携した「ITなんでも相談窓口」の設置、窓口相談、巡回指導、セミナーの実施等によりIT導入の促進と支援に努めました。支援件数242件は前年を下回ったものの、目標である150件を大きく上回りました。コロナ対応のほかDX推進など、デジタル活用に向けた相談ニーズは今後も多く見込まれることから、各種デジタル関連の支援体制の強化を図っていきます。

事業13の「企業OB人材の活用」については、経営課題を抱える中小企業と、専門的な経験や知識を有する主に大企業のOB（＝新現役）のマッチングを目的とした「新現役交流会」を開催しました。令和3年度においては、令和2年度に引き続き新型コロナウイルスの影響を鑑み、オンライン面談方式にて実施しました。移動にかかるコストがかからない点、自宅等から参加できる利便性等が好感され、前年度の第3回からは減少したものの、対面式（オフライン）で実施していた第1回、第2回交流会と比較して1.5倍近い78名の新現役から参加申込がありました。対面式とは異なり、信頼関係の構築には一定の時間を要することから、関係機関との連携及び参加企業に対するフォローを強化していく方針です。

事業15-（1）の「「ホビーのまち静岡」推進事業」は、本市の地域資源であるホビーを活用し、「ホビーのまち静岡」として市内外に情報発信することで、市のブランド化及び地域経済の活性化を図るものです。ホビー推進協議会静岡が実施するホビーのまち静岡推進事業（静岡ホビースクエアの運営等）に対し、補助金を交付しました。「ホビーのまち静岡」の認知度は現状、目標を上回っておりますが、引き続き、ホビー推進協議会静岡と連携し、新型コロナウイルス感染症の拡大状況等を踏まえ、内容、時期及び対象を見極め、効果的なシティプロモーション推進に取り組んでいきます。

方針・事業	成果指標	令和3年度 事業結果	事業評価
方針（４）中小企業の経営基盤・競争力の強化			
事業10 生産性向上に取り組む中小企業への支援			
(1) 事業高度化機械設備設置事業補助金	機械設備設置件数 23件	25件 (達成率：109%)	S
(2) 現場改善支援事業 ★	現場改善支援事業所数 8者	16者 (達成率：200%)	S
(3) 生産性向上特別措置法に係る 先端設備等導入計画の認定 ★	新規認定数150件	93件 (達成率：62%)	C
(4) IT技術の活用・促進に関する検討 ★	IT導入に関する支援件数 目標150件	242件 (達成率161%)	S
事業11 事業承継に対する支援 ★	専門家派遣を通じた支援 件数 80件	37件 (達成率：46%)	C
事業12 中小企業融資制度による支援	融資制度申込件数 600件	584件 (達成率：97%)	A
事業13 企業OB人材等の活用 ★	マッチング率 50% (参加企業のうち、人材の 支援を受け入れた企業の割 合)	60% (達成率：120%)	S
事業14 中小企業等の表彰事業			
(1) CSR活動表彰事業	表彰企業数：4件	6件 (達成率：150%)	S
(2) 中小企業者技術表彰事業	受賞事業者が広報された件 数 3件	3件 (達成率100%)	A
(3) 多様な人材の活躍応援事業所表彰事業 ★	表彰企業数 5件	8件 (達成率：160%)	S

注) ★印は第3次基本計画の策定に伴い新たに登載された事業を示しています。

表7 方針4の実施状況等（次項に続く）

方針・事業	成果指標	令和3年度 事業結果	事業評価
方針（4）中小企業の経営基盤・競争力の強化			
事業15 本市に根ざした産業のブランド化			
(1) 「ホビーのまち静岡」推進事業	「ホビーのまち静岡」の認知度 30%	54% (達成率：180%)	S
(2) 地域産業振興ブランド認証事業	展示販売会等実施回数 7回	7回 (達成率：100%)	A
(3) オクシズ「漆-japan-の里」構想事業 ★	漆植樹面積 0.36ha	0.47ha (達成率：131%)	S
事業16 地場産品の情報発信・愛用推進	①隣接する駿府楽市での 工芸品の年間売上金額 25,947千円 ②駿府匠宿創作体験者数 者数 18,300人 ③当該施設利用者満足度 90%以上	①30,909千円 (達成率：119%) ②22,512人 (達成率：123%) ③95% (達成率：106%)	①S ②S ③A

注) ★印は第3次基本計画の策定に伴い新たに登載された事業を示しています。

表7 方針4の実施状況等（前項から続く）

⑤方針5 次代を担う多様な人材の育成

方針5では、表8のとおり、数値目標を設定している11事業13項目のうち、「S」評価が4項目、「A」評価が6項目、「C」評価が1項目となったことから、方針別実施状況の評価を「○（期待どおり）」としています。

事業17－（2）「ものづくり教育推進事業」については、令和3年度からは「ものづくりキャリア教育推進事業」として子どもたちのものづくりへの関心を高めるとともに、本市に根付いた産業及びその仕事への理解を深めるため、市内小学校に対し、プラモデル等の本市ものづくり産業をテーマにした出前授業を実施しました。結果、授業を受けた児童の大部分にもものづくりについて関心を持ってもらうことができ、ものづくりに興味を持った児童の割合は61.7%となり、目標の60%を上回ることができました。

実施校からの好評をうけ、今後も引き続き、プラモデルをはじめとした静岡市を代表するものづくり産業について、対象学年に応じ、キャリア教育的観点から学習する内容ともものづくりの面白さを学ぶ内容の2つのメニューにより実施していきます。

事業18－（2）「若者の地元就職・U I J ターン就職の促進事業」は、地元就職並びに、U I J ターンを志す若者をはじめ、市内企業の情報が行き届いていない若者に対する課題解決を図ることを目的として、若者就活応援サイト「しずまっち」等の様々なツールを活用し、若者が市内企業への就職を将来の選択肢として捉えることができるよう取り組む事業です。令和3年度は、「市内企業への就職関心度」「将来の選択肢が広がった生徒の割合」ともに目標を上回ったことから、引き続き、早期からのキャリア形成に取り組むとともに、しずまっち等を活用しながら、若者と企業が相互交流できる機会を創出し、市内企業への関心を高められるよう取り組んでいきます。

事業18－（7）「働き方改革の実現に向けた環境整備の推進」は、働き方改革に取り組む企業ロールモデルの構築・事例発信や、ダイバーシティ経営推進セミナーの開催等により、市内企業における仕事と生活の両立や多様な人材が活躍できる職場環境の実現を図る事業です。令和3年度は「ダイバーシティ経営推進セミナー」として、管理職向け1回、従業員向け2回を開催し、総勢延べ72名に参加いただきました。「ダイバーシティに取り組みきっかけとなった」と回答した企業は93%となり、前年を上回りました。今現在は参加者についての後追いができていないことから、事業効果を図るためにも、実施方法についての検討を行います。

方針・事業	成果指標	令和3年度 事業結果	事業評価
方針 (5) 多様な産業人材の確保・育成			
事業17 ものづくり体験・学習機会の提供			
(1) 駿府匠宿での地場産品体験学習事業	申込児童数：3,250人	2,664人 (達成率：82%)	B
(2) ものづくり教育推進事業 ★	ものづくりに興味を持った児童 60%	61.7% (達成率：103%)	A
(3) こどもクリエイティブタウンでの職場体験等	年間利用者：100,000人	13,000人 (達成率：13%)	C
(4) プログラミング教育推進事業 ★	中学校技術・家庭科（技術分野）において、情報の技術の「ネットワークを利用した双方向プログラム」について学ぶ研修を1回実施。	—	※
事業18 多様な人材の就労に対する支援			
(1) 若者の就労支援事業 ★	親と若者の就労支援セミナー参加者満足度100%	100% (達成率：100%)	A
(2) 若者の地元就職・U I J ターン就職の促進事業 ★	①市内企業への就職関心度94% ②将来の選択肢が広がった生徒の割合96%	①95.8% (達成率：102%) ②97.8% (達成率：102%)	①A ②A
(3) 企業OB人材の活用【再掲】 ★	マッチング率 50% (参加企業のうち、人材の支援を受け入れた企業の割合)	60% (達成率：120%)	S
(4) 高齢者就労促進事業 ★	高齢求職者の雇用・就業数 115名	123名 (達成率：107%)	A
(5) 女性活躍ブランド認証事業 ★	ブランドの認定を行うとともに情報発信を行う。	認定件数8件 イベント・各種メディアによる情報発信	※
(6) 首都圏の女子学生を対象とした就労支援 ★	就職関心度90%以上	100% (達成率：111%)	S
(7) 働き方改革の実現に向けた環境整備の推進 ★	ダイバーシティに取り組むきっかけとなった企業割合80%以上	93% (達成率：116%)	S
事業19 若手職人の育成事業	新規制度利用者数 ①長期支援4人 ②独立支援2人	新規制度利用者数 ①長期支援3人（達成率：75%） ②独立支援2人（達成率：100%）	①B ②A
事業20 働き方改革の実現に向けた環境整備の推進【再掲】 ★	ダイバーシティに取り組むきっかけとなった企業割合80%以上	93% (達成率：116%)	S

注) ★印は第3次基本計画の策定に伴い新たに搭載された事業を示しています。

⑥方針6 伝統工芸技術の保存・継承

方針6では、表9のとおり、数値目標を設定している4事業5項目について、「S」評価が1項目、「A」評価が1項目、「A」評価が2項目、「C」評価が2項目となったことから、方針別実施状況の評価を「△（期待を下回る）」としています。

事業21－（1）「伝統工芸技術アーカイブス事業」は、熟練職人の高齢化や後継者不足により、今後存続が危ぶまれる伝統工芸技術に対する保存・継承の取り組みとして、消失の危機に直面する熟練職人技術を抽出し、映像化や技術工程のサンプル化等により文化として保存し、後世への継承を図る事業です。令和3年度は駿河張下駄の技術を保持する職人の、技術工程の映像を制作しました。なお、別途1件の保存を予定していましたが、技術保持者の体調不良により実現しませんでした。

各業界により後継者数や職人数など事情が異なるため、事情を把握しつつ調整を行っていくとともに、技術保持者の健康状態は今後も確実とはいえないため、期間を置かずに確実な保存を図っていく必要があります。一方で、アーカイブ技術は各職人個人の技術でもあり安易な公開はできないため、技術保持者との協議もしっかりと行う必要があります。

事業21－（2）「伝統工芸保存講習会の開催」は、本市の地場産業界の人材の育成や確保を図るため、地元伝統工芸業界の若手職人を対象に、伝統工芸技術の保存伝承・技術練磨等にかかる講習会を実施する事業です。令和3年度は5部門において開催し、38名の参加者がありました。講師の高齢化による人材不足は避けがたく、中堅職人の選定を増加させていく必要があるとともに、高度な技術継承を求める声もあり、より高度なコースも検討していきます。

方針（6）伝統工芸技術の保存・継承			
事業21			
伝統工芸技術の保存・継承			
(1) 伝統工芸技術アーカイブス事業 ★	映像化本数：2本	1本 (達成率：50%)	C
(2) 伝統工芸保存講習会の開催	①開催部門：5部門 ②参加者数：38名	①開催部門：5部門 (達成率：100%) ②参加者数：36名 (達成率：94%)	①A ②A
(3) 伝統工芸技術秀士の顕彰	秀士の指定者数：1名	0名 (達成率：0%)	C
(4) オクシズ「漆-japan-の里」構想事業【再掲】 ★	漆植樹面積 0.36ha	0.47ha (達成率：131%)	S
(5) 地域おこし協力隊による「井川メンバ」の保存・伝承 ★	市内唯一の職人の技術を伝承するための取組の実施	メンバ技術の習得に向け取り組んだものの、隊員本人の希望により、井川地区への定着には至らなかった。	※

注) ★印は第3次基本計画の策定に伴い新たに登録された事業を示しています。

表7 方針6の実施状況等

(3) 基本計画実施状況の総括

基本計画の実施状況に関しては、表9のとおり、6つの方針のうち2つの方針において「◎（期待を上回る）」、2つの方針において「○（期待どおり）」の評価となりました。

表10のとおり、評価区分別に見ると「S」評価が前年の13項目に対して今年度は19項目、「A」評価が前年の14項目に対して今年度は18項目と増加し、数値目標を設けた全項目数に対するS及びA事業数の割合が80.4%を占めたことから、基本計画全体としては、「検討を要する取組はあるものの概ね進捗が図られている」と捉えています。

また、本計画の目標は「計画最終年度（令和4年度）末時点の製造品出荷額等 2兆円」と設定していますが、「2020年工業統計調査」の本市における製造品出荷額等の上位5分類は「電気機械（対前年比8.9%増）」「食料品（同4.3%減）」「非鉄金属（同10.9%減）」「はん用機械（同2.2%増）」「化学工業（5.4%増）」であり、全体の製品出荷額等は2兆1,202億円（昨年度比0.1%減）と前年を下回るものの当計画の目標値を達成しております。

新型コロナウイルス感染症の流行に伴い企業の各種支援に対するニーズも変化していることから、令和5年度4月の次期基本計画スタートに向け、時勢の変化及び事業者のニーズに応じた次期基本計画策定に取り組んでいきます。

方針	事業評価	該当事業数	事業評価の割合	「期待どおり」(S+A)以上の事業の割合	実施状況の評価
方針1 (2項目)	S	0	0.0%	100%	◎
	A	2	100.0%		
	B	0	0.0%		
	C	0	0.0%		
	※	2			
方針2 (10項目)	S	4	66.7%	100%	◎
	A	2	33.3%		
	B	0	0.0%		
	C	0	0.0%		
	※	4			
方針3 (4項目)	S	0	0.0%	50%	△
	A	2	50.0%		
	B	0	0.0%		
	C	2	50.0%		
	※	0			
方針4 (16項目)	S	10	62.5%	88%	○
	A	4	25.0%		
	B	0	0.0%		
	C	2	12.5%		
	※	0			
方針5 (15項目)	S	4	30.8%	77%	○
	A	6	46.2%		
	B	2	15.4%		
	C	1	7.7%		
	※	2			
方針6 (6項目)	S	1	20.0%	60%	△
	A	2	40.0%		
	B	0	0.0%		
	C	2	40.0%		
	※	1			
方針別 実施状況の 評価	S+Aの割合が	■ 90%以上 : ◎ (期待を上回る) ■ 70%以上90%未満 : ○ (期待どおり) ■ 50%以上70%未満 : △ (期待を下回る) ■ 50%未満 : × (期待を顕著に下回る)			

表8 方針別実施状況の評価

評価区分	該当事業数	数値目標のある事業に占める割合	左記のうち「期待どおり」(S+A)となった事業の割合
S	19	41%	80.4%
A	18	39%	
B	2	4%	
C	7	15%	
※	9		
計	55		

表 10 評価区分別の事業数の割合等

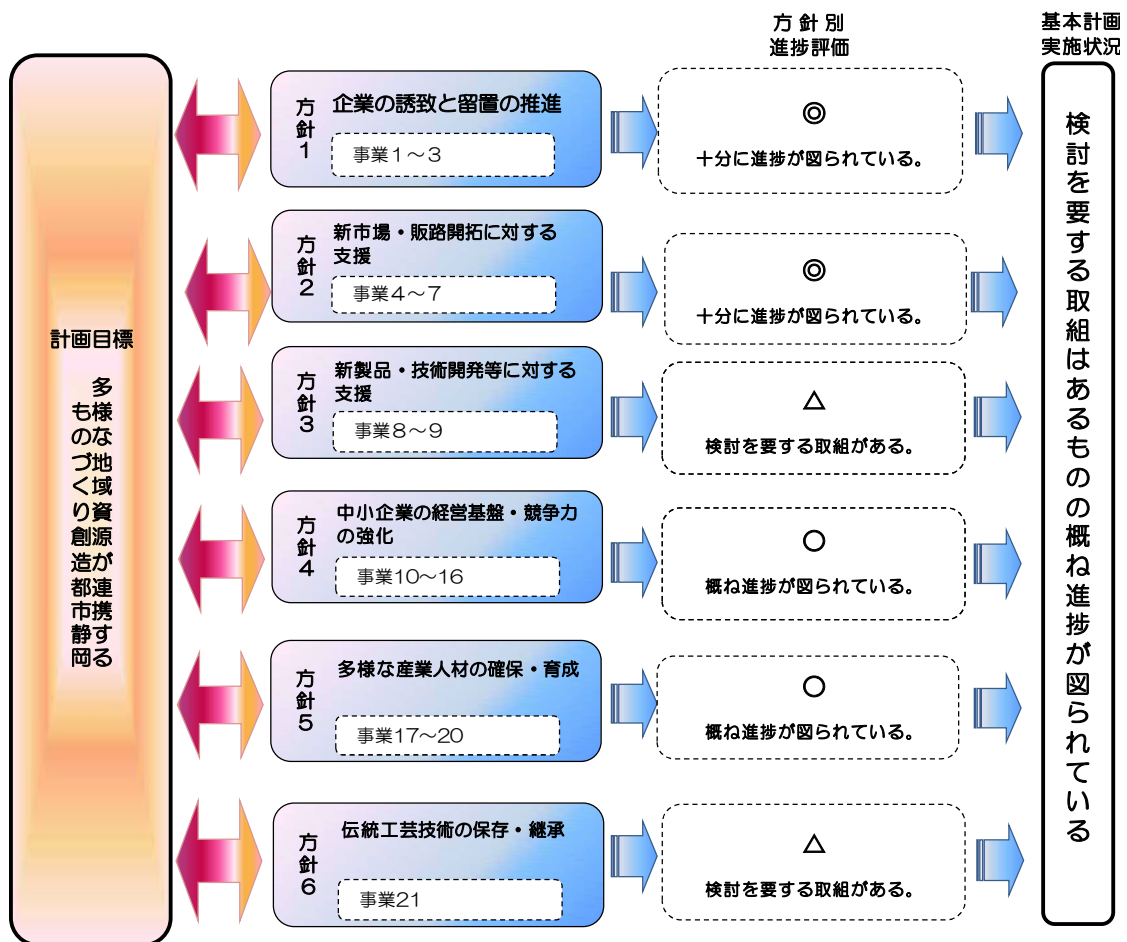


図 2 方針別実施状況の評価に基づく第2次基本計画の進捗状況

(添付資料)

各事業の実施状況管理個票

(P18~66)

4 各事業の実施状況管理個票

ものづくり基本計画		方針（１）企業の誘致と留置の推進		令和３年度	
事業名	事業１ 企業立地の推進	予算額		492,000 千円	
		決算額		473,396 千円	
事業概要	<p>地域の産業の高度化、活性化及び雇用機会の拡大を図るため、本市の特性を活かした「清水港・ロジスティクス」などの戦略産業の集積や、地方創生の一環である企業の本社機能の移転等による、企業の誘致と留置を推進します。</p> <p>具体的には、工場等の設置に係る用地取得費や設備投資費や事務所の賃借に対する助成を行うほか、本市の立地優位性や利便性、優遇施策等についての情報発信・PR活動を、東京事務所と連携して実施します。</p>	取組状況	事業結果	<p>市外企業の誘致、市内企業の留置に向けて、積極的な企業訪問を実施し、本市の立地優位性・ビジネス環境のPRや助成制度の情報発信を積極的に行うことで、企業立地の促進に努めている。</p> <p>令和３年度は、テレワークの推進による地方移転ニーズを取り込むため、情報発信や企業訪問等で県や東京事務所と連携し、首都圏からの企業誘致に成功した。</p> <p>引き続き、企業へのヒアリングを基に、ニーズに合わせた助成制度へ見直しを図るとともに、立地に際しての様々な行政手続きに係るワンストップサービスを産業振興課が担当するなど、企業に寄り添った支援を実施する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・新規企業立地件数 16件 ・市内企業訪問 181件 ・市外企業訪問 91件 ・企業立地相談件数 280件
成果目標	(新規企業立地件数) 17件				
1	分野	商工・物流	進捗率等	R4.3.31 現在	(新規企業立地件数) 16件 (達成率：94%)
	総合計画の位置付け(分野別)	政策	次代を担う本市を代表する産業を生み出します	事業評価	<p>次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等</p> <p>コロナ禍での地方移転ニーズを捉え、立地を計画する企業が特に不安視する人材確保のサポート体制を整備し、経済状況等に応じた助成制度の見直しを検討していく。</p>
		施策	企業の誘致と留置の推進		
産業振興プラン位置付け	分野	商工・物流			
	政策	次代を担う本市を代表する産業を生み出します			
	施策	企業の誘致と留置の推進			
担当課等	経済局商工部 産業振興課 企業立地係		その他 (特記事項)		

事業	ものづくり基本計画	方針（１）企業の誘致と留置の推進		令和３年度			
	事業名	事業２ 恩田原・片山土地区画整理事業		予算額	千円		
				決算額	千円		
	事業概要	東名新スマートＩＣの効果を最大限に生かすため、大谷・小鹿ランドデザインで「工業・物流エリア」に位置付けられた恩田原・片山地区において区画整理手法による都市基盤整備を進め、産業集積方針に基づく企業立地を推進します。		取組状況	事業結果	<p>■ 進出企業の誘致活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスの感染拡大により、当初計画していた進出企業の決定に影響が生じているものの、事業コーディネータと連携した企業誘致活動を実施することで企業ニーズを捉え企業立地の実現を推進した。 <p>■ 補助制度の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産業集積方針に基づく企業の立地を誘導するため、恩田原・片山地区に特化した新たな企業立地補助金制度要綱の骨子を作成した。 <p>■ 局間連携による事業推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・進出企業の誘致活動に併せて、用地の創出が着実に進むよう、都市局が土地区画整理事業の進捗管理等を実施し、局間連携による企業立地実現を推進した。 	
	成果目標	組合、コーディネータと連携した企業立地の推進					
	総合計画の位置付け(分野別)	分野	商工・物流		進捗率等	R4.3.31 現在	組合、コーディネータと連携した企業立地の推進 実施
		政策	次代を担う本市を代表する産業を生み出します				
		施策	企業の誘致と留置の推進				
	産業振興プラン位置付け	分野	商工・物流		事業評価	次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスの感染拡大により、当初計画していた進出企業の決定に影響が生じている。 ・進出を希望する企業がある区画については、着実に立地を実現するために、事業コーディネータに対して、早期に用地契約の手続きを進めるよう働きかける。 ・その他の区画については、引き続き事業コーディネータとの情報交換や用地の情報発信、企業の立地ニーズの掘り起こしを行い、産業集積方針に沿った企業立地実現を推進する。
		政策	次代を担う本市を代表する産業を生み出します				
施策		企業の誘致と留置の推進					
担当課等	経済局商工部 産業振興課 企業立地係 立地環境整備係		その他 (特記事項)				

ものづくり基本計画		方針（１）企業の誘致と留置の推進		令和３年度	
事業名	事業３ 地域未来投資促進法「地域基本計画」の推進 （１）「地域経済牽引事業」承認案件の企業立地支援	予算額		千円	
		決算額		千円	
事業概要	(1)地域未来投資促進法「地域基本計画」に沿って承認した、地域特性を活かして、付加価値の高い事業に取り組む「地域経済牽引事業」のうち、工場建設などの立地が伴う案件に対して、設備投資に係る課税の特例措置や、金融機関の低利融資制度などの優遇制度を活用して、効果的に企業立地を支援します。	取組状況	事業結果	<ul style="list-style-type: none"> ■「地域経済牽引事業計画」承認件数 「静岡市地域基本計画」に基づく承認件数：1件 「静岡市戦略産業等支援強化地域基本計画」に基づく承認件数：8件 ■「地域未来投資促進税制」の活用 ・課税特例のための先進性確認申請件数：6件 ■「地域経済牽引事業」の案件発掘 ・令和２年度から「電気機械器具製造業」や「食品・化粧品製造業」等の５分野の業種を対象に、上記事業計画の承認により市街化調整区域内への企業立地を可能とする新たな基準が設けられたため、新たな設備投資を計画している企業に対し、同計画の作成を促した。 ・加えて、地域経済牽引事業計画を作成する企業に対しては、個別に作成支援を実施した。 	
成果目標	地域経済牽引事業計画承認件数：10件				
3	総合計画の位置付け(分野別)	分野 商工・物流	進捗率等 R4.3.31 現在	地域経済牽引事業計画承認件数：10件	9件 (達成率：90%)
	産業振興プラン位置付け	政策 次代を担う本市を代表する産業を生み出します	事業評価 次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスの感染拡大による企業の設備投資意欲の減退等により、成果指標の件数を満たさない結果となった。 ・計画作成相談を受けた企業に対して、個別に企業訪問等を行い企業と直接対話をしながら作成支援を行う等、きめ細やかな対応を実施する。 ・令和3年度に実施した企業立地ニーズ調査結果を活用し、設備投資を計画している企業に対して個別に制度説明を行い、新規案件を発掘していく。 ・地域基本計画に基づき共同して支援する立場にある支援機関の優遇制度なども、積極的に企業に紹介するなどのマッチングを行う。 	
		施策 企業の誘致を留置の推進		施策 企業の誘致を留置の推進	
担当課等	経済局商工部 産業振興課 立地環境整備係	その他 (特記事項)			

事業	ものづくり基本計画	方針（１）企業の誘致と留置の推進		令和３年度		
	事業名	事業３ 地域未来投資促進法「地域基本計画」の推進 （２）「重点促進区域」の開発の実現化	予算額		千円	
			決算額		千円	
	事業概要	（２）企業立地の受け皿となる用地確保のための取組として、地域基本計画の中で、重点的に地域経済牽引事業の促進を図る「重点促進区域」に位置付けた開発候補地に対して、規制の特例措置の活用や開発に向けた関係部署との協議・調整などを実施し、開発の実現化を図ります。	取組状況	事業結果	<ul style="list-style-type: none"> ■ 進出検討企業の発掘 <ul style="list-style-type: none"> ・市及び県HPで用地情報を公開し、PRを行った。 ・進出を希望する企業ニーズの掘り起こしを実施した。 ■ 地域未来投資促進法に基づく支援制度の周知 <ul style="list-style-type: none"> ・県内外の7000社に対して、コロナ禍での企業の設備投資計画や立地ニーズ調査を行った。 ・これに合わせて、地域未来投資促進法に基づく各種支援制度の説明・周知を行った ■ 官金連携情報交換会での周知 <ul style="list-style-type: none"> ・市内金融機関と市で構成する情報交換会で、地域未来投資促進法による支援制度及び市街化調整区域への企業立地に係る、新たな基準について説明を行った。 ■ 開発に係る関係部署との協議・調整 <ul style="list-style-type: none"> ・関係部署を集めての合同会議や個別の打合せを実施し、開発に当たっての課題抽出や解決手法等の検討を進めた。 	
	成果目標	開発の実現に向けた関係部署との協議・調整				
	3	総合計画の位置付け(分野別)	分野	商工・物流	進捗率等	R4.3.31 現在
			政策	次代を担う本市を代表する産業を生み出します	事業評価	開発の実現に向けた関係部署との協議・調整
		施策	企業の誘致と留置の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・個別説明やチラシの配布、ホームページ等への掲載による用地情報や、開発に係る新基準の積極的な情報発信により、進出を検討する企業ニーズの掘り起こしを引き続き実施する。 ・昨年度実施したアンケート調査を活用し、設備投資ニーズの高い企業に対し、積極的にアプローチを図る。 ・企業の進出が具体化した案件については、開発許可に向け関係部署との協議・調整を実施し、開発の実現化を図る。 		
	産業振興プラン位置付け	分野	商工・物流			
		政策	次代を担う本市を代表する産業を生み出します			
	施策	企業の誘致と留置の推進				
担当課等	経済局商工部 産業振興課 立地環境整備係	その他 (特記事項)				

事業	ものづくり基本計画	方針（２）新市場、販路開拓に対する支援		令和３年度		
	事業名	事業４ 全国規模等の見本市への出展助成等		予算額	8,400 千円	
				決算額	4,946 千円	
	事業概要	<p>中小製造事業者の販路開拓支援や製造業の振興・発展を図るため、全国的な規模の展示会・見本市等への出展や開催に対して助成します。</p> <p>また、「ものづくり産業が盛んなまち」として本市の存在感を高めるため、本市経済を支える基盤産業及び本市を牽引していく可能性を秘めた戦略産業に該当する企業と共同で国内最大の展示会である「機械要素技術展」に出展し、本市ものづくり産業のPR及び市内企業の販路開拓支援を実施します。</p>	取組状況	事業結果	<p>①大規模展示会出展等事業補助金</p> <p>■申請件数：26件 名刺交換数（確認できたもの）3,499件 商談に進んだ件数 354件</p> <p>■新型コロナウイルスの影響により、海外展示会への出展を行った企業はなし。</p> <p>■金融機関を中心に補助金の周知活動を実施し、助成制度の活用促進に努めた。</p> <p>②大規模展示会共同出展事業</p> <p>■出展展示会：第26回機械要素技術展 ■会期：令和４年３月16日～18日 ■共同出展社数：5社</p>	
	成果目標	商談に進んだ割合（名刺交換件数のうち商談に進んだ件数の割合）①11% ②9.8%				
	4	総合計画の位置付け(分野別)	分野 商工・物流	進捗率等 R4.3.31 現在	商談に進んだ割合（名刺交換件数のうち商談に進んだ件数の割合）①11% ②9.8%	①10.1% (達成率92%) ②14.4% (達成率147%)
		政策	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります	事業評価 次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等		
	施策	新市場・販路開拓に対する支援				
	産業振興プラン位置付け	分野 商工・物流	政策 世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります			
		施策	新市場・販路開拓に対する支援	② 会期中の共同出展企業の積極的な営業活動により、目標値を達成した。共同出展企業の商談件数増加のためには、市ブースへの来場者数の増加が必須である。より多くの来場者数獲得のため、注目を集めるブース設営方法について引き続き検討を行う。		
担当課等	経済局商工部 産業振興課 工業振興係		その他 (特記事項)			

事業	ものづくり基本計画	方針（２）新市場・販路開拓に対する支援		令和３年度		
	事業名	事業５ 首都圏におけるプロモーション強化 （１）アンテナショップ開設事業		予算額	30,000 千円	
				決算額	23,975 千円	
	事業概要	本市のものづくり産業及び地域資源を活用した魅力ある商品等をPRするため、大消費地である首都圏においてプロモーション活動や販路開拓支援等を実施します。 (1)アンテナショップ開設事業 しずおか中部５市２町中枢連携都市圏事業として首都圏にアンテナショップを開設し、特産品等をPRするとともに、テストマーケティングの場として販路開拓支援を行います。	取組状況	事業結果	しずおか中部連携中枢都市圏（静岡市、島田市、焼津市、藤枝市、牧之原市、吉田町、川根本町）事業として、首都圏への販路拡大事業（①テストマーケティング業務 ②農水産物販路拡大支援業務③イベント実施業務）を実施した。新型コロナウイルス感染症の影響により、イベント実施業務は規模を縮小したが、テストマーケティングでのフィードバックを丁寧に行ったことやオンラインを活用した支援、イベント実施を行うことで、事業者の販路拡大や圏域の認知度向上につなげた。	
	成果目標	-				
	5	総合計画の位置付け(分野別)	分野	商工・物流	進捗率等	R4.3.31 現在
			政策	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります	事業評価	次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等
		施策	新市場・販路開拓に対する支援			
	産業振興プラン位置付け	分野	商工・物流	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります	事業評価	本事業は令和３年度に終了。
			政策			
施策		新市場・販路開拓に対する支援				
担当課等	経済局商工部 産業政策課 企画係		その他 (特記事項)			

事業	ものづくり基本計画	方針（２）新市場・販路開拓に対する支援		令和３年度			
	事業名	事業５ 首都圏におけるプロモーション強化 （２）ホビー産業育成支援事業	予算額	3,593 千円			
			決算額	2,847 千円			
	事業概要	<p>本市のものづくり産業及び地域資源を活用した魅力ある商品等をPRするため、大消費地である首都圏においてプロモーション活動や販路開拓支援等を実施します。</p> <p>(2)ホビー産業育成支援事業 本市が全国に誇るホビー産業を戦略産業として選定し、「ホビーのまち静岡」の認知度向上を図るため、首都圏にてプロモーションイベントを開催します。</p>	取組状況	事業結果	<p>2年ぶりの開催となるクリスマスフェスタのPRに「しずチカ」を活用し、模型業界・出展者と連携し、「クリスマスフェスタ」「ホビーのまち静岡」のPR展示を行った。</p> <p>新型コロナウイルスの影響により、首都圏でのPRイベントの開催が困難であったため、市内にてPRイベントを開催し、模型業界と連携し、SNSにて模型の世界首都をPRした。</p> <p>「模型の世界首都・静岡」パンフレットを4000部印刷した。</p>		
	成果目標	「ホビーのまち静岡」の認知度 30%					
	5	総合計画の位置付け(分野別)	分野	観光・交流	進捗率等	R4.3.31 現在	「ホビーのまち静岡」の認知度 30% 54% (達成率180%)
			政策	静岡のブランド力ある地域資源を活用した観光を推進します	事業評価	次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等	新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、首都圏へのプロモーションの手法について、従来の方法を見直し、コロナ禍においても効果的に見えるプロモーション方法を検討していく。
			施策	模型の世界首都・静岡を活かした魅力づくり			
	産業振興プラン位置付け	分野	観光・交流				
			政策	静岡のブランド力ある地域資源を活用した観光を推進します			
施策			模型の世界首都・静岡を活かした魅力づくり				
担当課等	経済局商工部 産業振興課 工業振興係		その他 (特記事項)				

事業	ものづくり基本計画	方針（２）新市場・販路開拓に対する支援		令和３年度			
	事業名	事業５ 首都圏におけるプロモーション強化 （３）伝統工芸品等の展示販売会		予算額	5,411千円		
				決算額	0千円		
	事業概要	<p>本市のものづくり産業及び地域資源を活用した魅力ある商品等をPRするため、大消費地である首都圏においてプロモーション活動や販路開拓支援等を実施します。</p> <p>(3)伝統工芸品等の展示販売会 本市伝統工芸品等のPRや販路開拓支援、消費者ニーズの把握等を目的とし、都内（御徒町の「2k540」やJ R新宿駅西口広場等）で展示販売会を開催します。また、本市が直接出展する全国規模の見本市等（首都圏以外も含む）においても積極的に伝統工芸品のPRに努め、販路開拓の支援に努めます。</p>		取組状況	事業結果		
	成果目標	新柄コロナウイルスの影響により中止				<p>■静岡市伝統工芸品展(御徒町2k540) 新型コロナウイルスの影響により中止</p> <p>■静岡市特産品東京展示会（新宿西口） 新型コロナウイルスの影響により中止</p>	
	5	総合計画の位置付け(分野別)	分野	商工・物流	進捗率等	R4.3.31 現在	新柄コロナウイルスの影響により中止
			政策	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります		事業評価	次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等
		施策	新市場・販路開拓に対する支援	分野	商工・物流		
	産業振興プラン位置付け	政策	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります	新市場・販路開拓に対する支援	分野	商工・物流	
			世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります			政策	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります
施策						新市場・販路開拓に対する支援	
担当課等	経済局商工部 産業政策課 地場産業係		その他 (特記事項)	両展示会とも新型コロナウイルスの影響により中止となった			

ものづくり基本計画		方針（２）新市場・販路開拓に対する支援		令和３年度	
事業名	事業 6	予 算 額	22,127 千円		
	地場産品の販路開拓・販売促進 (1)駿府楽市による P R・販売促進支援		決 算 額	21,796 千円	
事業概要	<p>伝統工芸品を含む地場産品の販路開拓と販売促進を支援することで、地場産業関係事業者の収益性の向上に努めます。</p> <p>(1)駿府楽市による P R・販売促進支援 JR静岡駅構内に立地する駿府楽市で、本市地場産品を市民や来静者へ P R し、地場産品の愛用促進と販路開拓を押し進めます。</p>	取組状況	事業結果	<p>■ JR静岡駅アスティ静岡西館「駿府楽市」内の静岡市特産品展示コーナーにおいて、年間26回の展示会を開催した。</p> <p>・R3来場者数：204,460人</p> <p>・隣接する駿府楽市での工芸品のR3年間売上金額：30,909千円</p> <p>■ 静岡市特産品展示コーナーに係る運営業務委託、什器購入、空調保守、清掃、玄関マット賃借の実施</p>	
成果目標	隣接する駿府楽市での工芸品の年間売上金額 25,947千円				
6	分野	商工・物流	進捗率等	R 4 . 3 . 31 現在	隣接する駿府楽市での工芸品の年間売上金額 25,947千円 30,909千円 (達成率：119%)
	総合計画の位置付け(分野別)	政策	事業評価	次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等	<p>目標の売上金額を大幅に上回ることができたが、展示内容やPR方法が前例踏襲的で、売上金額についてはコロナ情勢に左右されている部分が大い。効果的な新型コロナウイルス感染症対策を図り、来場者が安全に鑑賞・購入できる環境を整備するとともに、駿府楽市の経営改善を踏まえた展示コーナー運営方法の再検討が必要。</p>
		施策			
産業振興プラン位置付け	分野	商工・物流			
	政策	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります			
	施策	新市場・販路開拓に対する支援			
担当課等	経済局商工部 産業政策課 地場産業係	その他 (特記事項)			

ものづくり基本計画		方針（２）新市場・販路開拓に対する支援		令和３年度	
事業名	事業6 地場産品の販路開拓・販売促進 (2)「しずおか特産品まつり」開催による販売促進支援	予算額	3,799 千円		
		決算額	4,223 千円		
事業概要	<p>伝統工芸品を含む地場産品の販路開拓と販売促進を支援することで、地場産業関係事業者の収益性の向上に努めます。</p> <p>(2)「しずおか特産品まつり」開催による販売促進支援 多くの市民が行き交う青葉シンボルロードにおいて、職人自らが実演販売・展示販売を行うことで、多くの市民の目に触れる機会を創出し、本市の優れた伝統工芸品に対する市民の誇りと愛情を醸成します。</p>	取組状況	事業結果	<p>■新型コロナウイルスの影響があつても、折込チラシ数を増加したこと、ワークショップを充実させたことなどが功を奏し、目標を大幅に上回る来場者数を達成した。 来場者数：春の市6,000人、秋の市3,300人</p> <p>■来場者には、工芸品が身近に安く買えるイベントとして定着しており、リピーターの割合が高かった。</p> <p>■新たな出展機会として、2月中旬開催予定だった文化財課主催の「大神楽祭」への出展を検討していたが、新型コロナウイルスの影響により、開催中止となった。</p>	
成果目標	来場者数5,200人				
6	総合計画の位置付け(分野別)	分野 商工・物流	進捗率等 R4.3.31 現在	来場者数5,200人	9,300人 (達成率：179%)
		政策 世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります	事業評価 次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等	新型コロナウイルスの影響下でも、定着的なイベントとして認識されるよう、コンスタントに事業を継続していく必要がある。また、PR要素が不足しているとの課題があり、看板などの製作を進めたため、次年度以降に効果検証が必要。	
		施策 新市場・販路開拓に対する支援			
産業振興プラン位置付け	分野 商工・物流	政策 世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります			
		施策 新市場・販路開拓に対する支援			
担当課等	経済局商工部 産業政策課 地場産業係	その他 (特記事項)			

事業 6	ものづくり 基本計画	方針（２）新市場・販路開拓に対する支援		令和３年度		
	事業名	事業 6 地場産品の販路開拓・販売促進 (3)「産業フェアしずおか」開催補助金		予算額	14,550 千円	
				決算額	14,550 千円	
	事業概要	<p>伝統工芸品を含む地場産品の販路開拓と販売促進を支援することで、地場産業関係事業者の収益性の向上に努めます。</p> <p>(3)「産業フェアしずおか」開催補助金 産業フェアしずおかの開催に対して助成することで、伝統工芸品の良さを再認識してもらい、「買ってもらい（販売促進）」、「販路を拡大」することにより、伝統工芸品を中心に地場産品の振興を図ります。</p>		取組状況	<p>事業結果</p> <p>■来場者数：30,600人 ■コロナ禍での2回目の開催となったが、来場者数は昨年度の2倍以上となり、徹底した新型コロナウイルス感染症対策のもと産業フェアしずおかを開催したことで、本市の地場産品をPRすることができたため。</p>	
	成果目標	来場者数32,000人				
	総合計画 の 位置付け (分野別)	分野	商工・物流		進捗率等	R4.3.31 現在
		政策	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります			
		施策	新市場・販路開拓に対する支援			
	産業振興 プラン 位置付け	分野	商工・物流		事業評価	<p>次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等</p> <p>新型コロナウイルス感染症の対策としてキャッシュレス決済の導入や地場産業ゾーンに特化した満足度調査等が必要である。</p>
		政策	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります			
施策		新市場・販路開拓に対する支援				
担当課等	経済局商工部 産業政策課 地場産業係		その他 (特記事項)			

事業 7	ものづくり 基本計画	方針（２）新市場・販路開拓に対する支援		令和３年度		
	事業名	事業 7 中小企業の海外展開に対する支援 (1)国際食品見本市の出展等による支援		予算額	2,568 千円	
				決算額	2,530 千円	
	事業概要	(1)国際食品見本市の出展等による支援 市内中小企業等の海外展開に際し、国際食品見本市の出展や海外販路を有する国内商社との個別商談会等の開催を通じて、直接輸出、間接輸出の両面から独自で取り組んでいけるよう支援します。		取組 状況	事業結果 国際食品見本市に関してはコロナ禍で渡航ができず中止とした。国内商社との個別商談会に関しては、台湾現地の飲食店やテイクアウト専門店での商品のメニュー開発を含めたテストマーケティングを実施し、台湾での商品ニーズ調査を実施した。	
	成果目標	事業中止				
	総合計画 の 位置付け (分野別)	分野	商工・物流		進捗 率等	R4.3.31 現在
		政策	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります			
		施策	新市場・販路開拓に対する支援			
	産業振興 プラン 位置付け	分野	商工・物流		事業 評価	次年度 に向けた 改善点 ・ 目標の 未達成 理由等
		政策	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります			
施策		新市場・販路開拓に対する支援				
担当課等	経済局商工部 産業振興課 中小企業支援係		その他 (特記事項)		事業中止 ニーズ調査実施件数 13件 R3年度まではサンプル発送を行いテストマーケティングや商談を行ったことで、実際に注文が入った際事業者には輸出ルートがなく、商談が決まらないことが課題として挙げられていた。R4年度～R8年度までしずおか中部連携中枢連携都市圏事業の第2期として予算を5,000千円に増やし、テストマーケティング～商談会、現地での営業代行などを実施するが、輸送に関してはサンプル発送ではなく正規の輸出手続きを行うことで、引き続き注文が入った場合にもスムーズに取引ができるようにする。	

事業 7	ものづくり 基本計画	方針（２）新市場・販路開拓に対する支援		令和３年度		
	事業名	事業７ 中小企業の海外展開に対する支援 (2)海外で開催される見本市への出展助成等		予算額	8,400 千円	
				決算額	4,946 千円	
	事業概要	(2)海外で開催される見本市への出展助成等 中小製造事業者の海外における販路開拓支援や製造業の振興・発展を図るため、海外で開催される展示会・見本市等への出展や開催に対して助成します。		取組状況 事業結果	大規模展示会出展等事業補助金 ■申請件数：26件 ■うち、海外展示会への出展を行った企業数はなし。 ■金融機関を中心に補助金の周知活動を実施し、助成制度の活用促進に努めた。	
	成果目標	商談成約率（名刺交換件数のうち商談に進んだ件数の割合）-%				
	総合計画の 位置付け (分野別)	分野	商工・物流		進捗率等 R4.3.31 現在	商談成約率（名刺交換件数のうち商談に進んだ件数の割合）-% 0%
		政策	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります		事業評価 次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等	令和２年度に引き続き、令和３年度においては、新型コロナウイルスの影響により、海外展示会の中止や海外渡航の制限等により、海外展示会に出展する企業がなかった。 令和４年度以降については、海外渡航に関する制限の状況等を確認しつつ、海外展開に興味を持つ企業に対し、JETRO静岡貿易情報センターなどと連携し海外展開に係る支援情報などの情報提供を行っていく。
		施策	新市場・販路開拓に対する支援			
	産業振興 プラン 位置付け	分野	商工・物流			
		政策	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります			
	施策	新市場・販路開拓に対する支援				
担当課等	経済局商工部 産業振興課 工業振興係		その他 (特記事項)			

事業 8	ものづくり 基本計画	方針（３）新製品・技術開発等に対する支援		令和３年度		
	事業名	事業 8 新商品開発等に対する支援 (1)新商品開発に対する助成		予算額	3,500 千円	
				決算額	2,973 千円	
	事業概要	<p>新商品開発等に対して多角的な支援を実施することで、中小企業等の新商品開発意欲の向上に寄与し、地域経済の活性化を図ります。</p> <p>(1)新商品開発に対する助成 中小製造事業者を対象に、新商品等の開発に要する経費等に対して助成することにより、中小製造事業者の開発意欲の向上や製造業の振興・発展を図ります。</p>		取組 状況	事業結果	
	成果目標	新商品等開発支援件数 7件				<p>①開発事業 ■申請件数：2件 ■採択件数：2件</p> <p>②改善事業 ■申請件数：5件</p> <p>採択企業に対しては、試作品の完成に向け随時フォローアップを行い、全ての事業を年度内に完了することができた。併せて産業財産権出願事業補助金の活用も推進し、企業競争力の強化につなげた。</p>
	総合計画 の 位置付け (分野別)	分野	商工・物流	進捗 率等	R 4 . 3 . 31 現在	新商品等開発支援件数 7件 7件 (達成率100%)
	産業振興 プラン 位置付け	政策	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります		事業 評価	<p>次年度に向けた改善点 ・ 目標の未達成理由等</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響により低迷した業績回復に向け販路開拓と商品開発は事業者の主要課題であるため、周知活動を継続し、申請件数増加に努める。今後は、従来の商品開発に対する支援のみならず、開発後の販路開拓に繋がるノウハウの蓄積等も支援できる総合的な支援制度を検討していく。</p>
		施策	新製品・技術開発等に対する支援			
		分野	商工・物流			
	担当課等	経済局商工部 産業振興課 工業振興係		その他 (特記事項)		

事業 8	ものづくり 基本計画	方針（３）新製品・技術開発等に対する支援		令和３年度		
	事業名	事業 8 新商品開発等に対する支援	予算額	6,437 千円		
		(2)デザイナー等とのコラボレーションに対する支援	決算額	6,374 千円		
	事業概要	<p>新商品開発等に対して多角的な支援を実施することで、中小企業等の新商品開発意欲の向上に寄与し、地域経済の活性化を図ります。</p> <p>(2)デザイナー等とのコラボレーションに対する支援 デザイナー等とのづくり産業の事業所等をマッチングさせ、両者の協働によって新商品等を開発する「ニューウェーブしずおか開発事業」や「しずおかMIRAI designプロジェクト」を実施し、新商品開発の促進を図ります。</p>	取組状況	事業結果	<p>■（ニューウェーブしずおか創造事業） 地元の意欲的地場産業者が参加し、プロデューサー指導のもと公募デザイナーとの協働により、デザイン開発を実施。試作を行い、PRツール等を作成しつつHP等で告知し、「東京インターナショナルギフトショー」に出展。販路開拓を実施した。 参加事業者：6者 公募デザイナー：6者 開発点数：20点 展示会開催：1回（東京インターナショナルギフトショー）</p>	
	成果目標	(ニューウェーブしずおか創造事業) 開発点数30点				
	総合計画の位置付け(分野別)	分野	商工・物流	進捗率等	R4.3.31 現在	(ニューウェーブしずおか創造事業) 開発点数30点 20点 (達成率：67%)
		政策	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります		事業評価 次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等	<p>■（ニューウェーブ） 開発点数は開発内容により大きく左右されるため開発は充分に実施されている。今後は開発品の一層の商品化を図っていく必要がある。</p>
		施策	新製品・技術開発等に対する支援			
	産業振興プラン位置付け	分野	商工・物流			
	産業振興プラン位置付け	政策	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります			
施策		新製品・技術開発等に対する支援				
担当課等		経済局商工部 産業振興課 地場産業係		その他 (特記事項)		

事業	ものづくり基本計画	方針（３）新製品・技術開発等に対する支援		令和３年度			
	事業名	事業８ 新商品開発等に対する支援 (3)専門家の指導による新商品開発支援プロジェクトの実施		予算額	129,371,100 の一部 千円		
				決算額	123,573,649 の一部 千円		
	事業概要	<p>新商品開発等に対して多角的な支援を実施することで、中小企業等の新商品開発意欲の向上に寄与し、地域経済の活性化を図ります。</p> <p>(3)専門家の指導による新商品開発支援プロジェクトの実施 専門家による指導のもと、中小企業が新商品開発から販売まで一貫したマーケティング手法を学ぶ「静岡おみやプロジェクト」により、新商品開発のノウハウ習得等を支援します。</p>		取組状況	事業結果	<p>【静岡おみやプロジェクト】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プロジェクト期間 令和２年6月中旬～令和３年３月末 ・上限枠：６社 ・マーケティング戦略に基づいた５商品が２月時点で完成。 	
	成果目標	プロジェクト参加企業数６社					
	8	総合計画の位置付け(分野別)	分野	商工・物流	進捗率等	R4.3.31 現在	プロジェクト参加企業数６社 6社 (達成率：100%)
		産業振興プラン位置付け	政策	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります	事業評価	次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等	コロナ禍でお土産の需要が減っていることもあり、応募事業者が思わしくないため、事業テーマの見直しが必要。
			施策	新製品・技術開発等に対する支援			
	政策	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります					
	担当課等	経済局商工部 産業振興課 中小企業支援係			その他 (特記事項)		

事業	ものづくり基本計画	方針（３）新製品・技術開発等に対する支援		令和３年度			
	事業名	事業９ 産業財産権出願に対する助成		予算額	1,300 千円		
				決算額	800 千円		
	事業概要	<p>産業財産権の出願に要する経費等に対して助成することにより、中小製造事業者の技術開発等の意欲向上や産業財産権保護の必要性に対する意識啓発を図ります。</p> <p>また、日本貿易振興機構（JETRO）では海外における知的財産権の保護に関する相談を受け付けているため、市内企業等から相談があった場合には窓口を案内するなど、連携した支援を実施していきます。</p>		取組状況	事業結果	<p>産業財産権出願を完了していることが他社への牽制となる。出願件数は目標値を下回ったが、申請企業の知財の保護に対する意欲が見られた。</p> <p>■特許出願 : 7件 ■実用新案登録出願 : 1件</p>	
	成果目標	産業財産権出願支援件数 13件					
	9	分野	商工・物流	進捗率等	R 4 . 3 . 31 現在	産業財産権出願支援件数 13件	8件 (達成率62%)
		総合計画の位置付け(分野別)	政策	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります	事業評価	次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等	知財の保護、活用により新たな付加価値創出に繋がるケースがある。新型コロナウイルス感染症の影響により低迷した業績回復のため、申請件数増加に努める。
			施策	新商品・技術開発等に対する支援			
	産業振興プラン位置付け	分野	商工・物流	政策			
	担当課等	経済局商工部 産業振興課 工業振興係		その他 (特記事項)			

事業 10	ものづくり 基本計画	方針（４）中小企業の経営基盤・競争力の強化		令和３年度		
	事業名	事業10 生産性向上に取り組む中小企業への支援 (1)事業高度化機械設備設置事業補助金		予算額	61,349 千円	
				決算額	61,349 千円	
	事業概要	<p>生産性向上に取り組む中小企業等に対して多角的な支援を実施します。</p> <p>(1)事業高度化機械設備設置事業補助金 中小製造事業所に対し、生産性の向上に資すると認められる機械設備設置経費に対する助成を行うことにより、地域の産業の活性化及び高度化を図ります。</p>		取組 状況	事業結果	
	成果目標	機械設備設置件数 23件				<p>■補助金交付件数：25件 ■補助金交付金額：61,349千円</p> <p>企業や金融機関からの問い合わせに対しては、早期に対応し、積極的に訪問活動を実施。申請の支援を行うとともに事業課題のヒアリング等も実施、本補助金以外の支援にもつなげられるよう活動を行った。</p>
	総合計画 の 位置付け (分野別)	分野	商工・物流		進捗 率等	R4.3.31 現在
		政策	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります			機械設備設置件数 23件
		施策	中小企業の経営基盤・競争力の強化		事業 評価	次年度 に向けた 改善点 ・ 目標の 未達成 理由等
	産業振興 プラン 位置付け	分野	商工・物流			
		政策	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります			
施策		中小企業の経営基盤・競争力の強化				
担当課等	経済局商工部 産業振興課 工業振興係		その他 (特記事項)			

事業 10	ものづくり 基本計画	方針（４）中小企業の経営基盤・競争力の強化		令和３年度		
	事業名	事業10 生産性向上に取り組む中小企業への支援 (2)現場改善支援事業		予算額	64,117千円のうちの一部	
				決算額	64,117千円のうちの一部	
	事業概要	<p>生産性向上に取り組む中小企業等に対して多角的な支援を実施します。</p> <p>(2)現場改善支援事業 市内中小企業が抱える経営課題の解決に向け、企業OBを中心とした経験豊かな専門アドバイザーを派遣し、現場作業改善（5S）や技術力向上、製品の高付加価値化を支援するほか、AIやIoTに関する相談等についても支援します。</p>		取 組 状 況	事業結果 <ul style="list-style-type: none"> ■現場改善支援事業所数：16事業所 ■成果発表会：3講座（現場改善関連2講座、IT関連2講座） 140名参加 	
	成果目標	現場改善支援事業所数 8者				
	総合計画 の 位置付け (分野別)	分野	商工・物流		進 捗 率 等	R4.3.31 現在
		政策	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります		事 業 評 価	現場改善支援事業所数 8者 16者 (達成率：200%)
施策		中小企業の経営基盤・競争力の強化				
産業振興 プラン 位置付け	分野	商工・物流				
	政策	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります		次年度 に向けた 改善点 ・ 目標の 未達成 理由等	・業務改善の手法ごとの専門性が異なるため、社内の人材育成は、中小企業では困難であるものの、経営環境の変化に対応するため、事業内容も変化を続けている中で、業務改善の取組みを、企業において継続させることが必要となっている。	
	施策	中小企業の経営基盤・競争力の強化				
担当課等	経済局商工部 産業振興課 中小企業支援係		その他 (特記事項)			

事業 10	ものづくり 基本計画	方針（４）中小企業の経営基盤・競争力の強化		令和３年度		
	事業名	事業10 生産性向上に取り組む中小企業への支援 (3)生産性向上特別措置法に係る先端設備等導入計画の認定		予算額	- 千円	
				決算額	- 千円	
	事業概要	<p>生産性向上に取り組む中小企業等に対して多角的な支援を実施します。</p> <p>(3)生産性向上特別措置法に係る先端設備等導入計画の認定 先端設備等導入計画について市が認定を行い、取得した先端設備について、初年度から3年分の固定資産税軽減措置を受けることができるほか、認定を受けた企業が中小企業融資制度を利用するときには、信用保証料の一部を補助します。</p>		取組状況	事業結果 <ul style="list-style-type: none"> ■新規認定件数：93件 ■変更認定件数：59件 	
	成果目標	新規認定数150件				
	総合計画の位置付け(分野別)	分野	商工・物流		進捗率等	R4.3.31 現在
		政策	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります		事業評価	新規認定数150件 93件 (達成率：62%)
		施策	中小企業の経営基盤・競争力の強化			
	産業振興プラン位置付け	分野	商工・物流			
	産業振興プラン位置付け	政策	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります		次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等	今後も適切に認定事務の執行をする。
施策		中小企業の経営基盤・競争力の強化				
担当課等	経済局商工部 産業政策課 新産業係		その他 (特記事項)			

事業 10	ものづくり 基本計画	方針（４）中小企業の経営基盤・競争力の強化		令和３年度				
	事業名	事業10 生産性向上に取り組む中小企業への支援 (4) I T 技術の活用・促進に関する検討		予算額	6,320 千円			
				決算額	6,320 千円			
	事業概要	<p>生産性向上に取り組む中小企業等に対して多角的な支援を実施します。</p> <p>(4) I T 技術の活用・促進に関する検討 I T 技術導入に対する状況や姿勢は企業によって差があるため、静岡県 I o T 活用研究会や静岡商工会議所の I T 支援プロジェクトチーム等と連携しながら、きめ細かな支援策について検討を進めます。</p>		取組 状況	事業結果	<ul style="list-style-type: none"> ■静岡商工会議所と連携してITなんでも相談窓口を設置。 ■窓口相談、巡回指導、専門家派遣、セミナーを実施し、IT導入の促進並びに支援に努めた。 		
	成果目標	IT導入に関する支援件数 目標150件						
	総合計画 の 位置付け (分野別)	分野	商工・物流		進捗 率等	R 4 . 3 . 31 現在	IT導入に関する支援件数 目標150件	242件 (達成率161%)
		政策	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります		事業 評価	次年度 に向けた 改善点 ・ 目標の 未達成 理由等	今後も、コロナ対応のほかDX推進など、デジタル活用に向けた相談ニーズが多く見込まれる。このことから、各種デジタル関連の支援体制の強化を図っていく。	
施策		中小企業の経営基盤・競争力の強化						
産業振興 プラン 位置付け	分野	商工・物流						
	政策	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります						
	施策	中小企業の経営基盤・競争力の強化						
担当課等	経済局商工部 産業振興課 中小企業支援係		その他 (特記事項)					

事業	ものづくり基本計画	方針（４）中小企業の経営基盤・競争力の強化		令和３年度		
	事業名	事業11 事業承継に対する支援		予算額	6,800 千円	
				決算額	5,665 千円	
	事業概要	<p>市内中小企業が円滑な事業承継を行うことは、次世代に技術やノウハウを引き継ぐとともに、雇用を確保し、市内経済活動への貢献を続けることにつながるため、国の動きに連動するとともに、関係機関と連携のもと、事業承継の支援体制を強化します。</p> <p>(1)相談及び相談者の課題等に応じた専門家の選定等 (2)専門家の派遣 (3)啓発セミナーの開催及びチラシ等による周知</p>	取組状況	事業結果	<p>■静岡商工会議所との連携により、事業承継に係る支援体制を構築。 ■経営者等への啓発をはじめ、事業承継に関する相談及び専門家派遣の支援を行った。</p>	
	成果目標	専門家派遣を通じた支援件数 80件				
	11	分野	商工・物流	進捗率等	R4.3.31 現在	専門家派遣を通じた支援件数 80件 37件 (達成率：46%)
		総合計画の位置付け(分野別)	<p>政策 世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります</p> <p>施策 中小企業の経営基盤・競争力の強化</p>	事業評価		<p>次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等</p> <p>積極的なアプローチや広報ができておらず、目標を大きく下回った。必要性も検証し事業の見直しが必要。</p>
		産業振興プラン位置付け	<p>分野 商工・物流</p> <p>政策 世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります</p> <p>施策 中小企業の経営基盤・競争力の強化</p>			
	担当課等	経済局商工部 産業振興課 中小企業支援係				

事業	ものづくり基本計画	方針（４）中小企業の経営基盤・競争力の強化		令和３年度		
	事業名	事業12 中小企業融資制度による支援		予算額	167,095 千円	
				決算額	62,466 千円	
	事業概要	<p>市内中小企業が経営上必要な資金を金融機関からの融資を受ける際、利息及び保証料の一部を助成します。</p> <p>(1)各貸付金に対する利息補給 (市内16取扱金融機関に対し、上期・下期に利息補給)</p> <p>(2)小規模事業者経営改善（マル経）資金に対する利息補給 (借入者の委任を受けた商工会等に対し、年1回利息補給)</p> <p>(3)信用保証料に対する保証料補給 (静岡県信用保証協会の信用保証料の一部を補給)</p>	取組状況	事業結果	<p>【中小企業融資制度】</p> <p>■ 3年間実質無利息の新型コロナウイルス関連の県制度融資が令和3年度も継続され、市制度融資の利用件数はコロナ前の状況まで回復しなかったが、県制度融資では対応できない創業支援資金8件、短期経営改善資金280件、産業振興資金252件の受付実績の成果があった。</p>	
	成果目標	融資制度申込件数 600件				
	12	分野	商工・物流	進捗率等	R4.3.31 現在	融資制度申込件数 600件 584件 (達成率：97%)
		総合計画の位置付け(分野別)	<p>政策 世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります</p> <p>施策 中小企業の経営基盤・競争力の強化</p>	事業評価	次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等	<p>・新型コロナ関連の県制度融資は、時限的措置のため、終了後は市制度融資の利用が見込まれる。</p> <p>・事業者や金融機関からの情報収集により、時勢や状況に応じたより良い融資制度に向け、見直しを図っていく。</p> <p>・各制度融資、保証料補給事業等、市内事業者のためになる市の施策を説明会などを利用して引き続き周知していく。</p>
産業振興プラン位置付け		<p>分野 商工・物流</p> <p>政策 世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります</p> <p>施策 中小企業の経営基盤・競争力の強化</p>				
担当課等	経済局商工部 産業振興課 中小企業支援係		その他 (特記事項)			

事業 13	ものづくり 基本計画	方針（４）中小企業の経営基盤・競争力の強化		令和３年度		
	事業名	事業13 企業OB人材等の活用		予算額	1,900 千円	
				決算額	1,673 千円	
	事業概要	企業と企業OB人材等とのマッチングの機会を提供することで、企業OB人材等が持つ知識・経験・ノウハウ等を活用し、企業が持つ様々な経営課題の解決を図る取り組みを推し進めます。	取組状況	事業結果	<p>■新現役交流会の開催</p> <p>経営課題を抱える中小企業と、専門的な経験・知識を有する企業OB等（＝新現役）とのマッチングを目的とした交流会を開催した。</p> <p>・事業名：第4回 静岡市新現役交流会</p> <p>・日時：令和3年8月25日（水）13:00~17:30</p> <p>・場所：しずおか焼津信用金庫2階大会議室 静岡信用金庫研修センター大会議室</p> <p>・参加企業数：21社</p> <p>・参加新現役数：75名</p> <p>・マッチング率：12社/20社≒60.0%</p>	
	成果目標	マッチング率 50%（参加企業のうち、人材の支援を受け入れた企業の割合）				
	総合計画 の 位置付け (分野別)	分野	商工・物流	進捗率等	R4.3.31 現在	マッチング率 50%（参加企業のうち、人材の支援を受け入れた企業の割合） 60% (達成率：120%)
		政策	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります		事業 評価	<p>次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等</p> <p>オンライン形式により実施しているが、対面式とは異なり、信頼関係の構築には一定の時間を要することから、関係機関との連携及び参加企業に対するフォローを強化していく。今後は、応分の負担による金融機関との関係構築に取り組んでいく。</p>
		施策	中小企業の経営基盤・競争力の強化			
	産業振興 プラン 位置付け	分野	商工・物流			
		政策	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります			
	施策	中小企業の経営基盤・競争力の強化				
担当課等	経済局商工部 産業振興課 工業振興係		その他 (特記事項)			

事業 14	ものづくり 基本計画	方針（４）中小企業の経営基盤・競争力の強化		令和３年度			
	事業名	事業14 中小企業等の表彰事業 (1)CSR活動表彰事業		予算額	2,012 千円		
				決算額	862 千円		
	事業概要	<p>本市の誇る、魅力ある中小企業等を様々な観点から表彰し、企業価値の向上につなげます。表彰企業に対しては、リーフレットやパネル等を作成し、様々な機会 で企業情報を発信するとともに、中小企業融資制度にかかる信用保証協会保証料の補助率を通常25%から75%に上乘せします。</p> <p>(1)CSR活動表彰事業 事業活動の維持拡大と社会的健全性のある経営を実践する中小企業を表彰することで、当該企業の企業価値の向上、経営基盤や競争力の強化を図ります。</p>		取組 状況	事業結果	<ul style="list-style-type: none"> ■表彰企業数：6件 ■表彰企業の情報発信：7件 	
	成果目標	表彰企業数：4件					
	総合計画 の 位置付け (分野別)	分野	商工・物流		進捗 率等	R4.3.31 現在	表彰企業数：4件 6件 (達成率：150%)
		政策	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります				
		施策	中小企業の経営基盤・競争力の強化				
	産業振興 プラン 位置付け	分野	商工・物流		事業 評価	次年度 に向けた 改善点 ・ 目標の 未達成 理由等	経済団体や中小企業が集まる場での直接的な制度の周知など、応募件数を増やすための取組を行う。また、金融機関を通じて、表彰企業のインセンティブについて周知を促す。 市民局、また企画局が実施するSDGsのイベント等と連携し、更なる表彰企業の情報発信を実施していく。
		政策	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります				
施策		中小企業の経営基盤・競争力の強化					
担当課等	経済局商工部 産業政策課 新産業係		その他 (特記事項)				

事業 14	ものづくり 基本計画	方針（４）中小企業の経営基盤・競争力の強化		令和３年度		
	事業名	事業14 中小企業等の表彰事業 (2)中小事業者技術表彰事業		予算額	987 千円	
				決算額	501 千円	
	事業概要	<p>本市の誇る、魅力ある中小企業等を様々な観点から表彰し、企業価値の向上につなげます。表彰企業に対しては、リーフレットやパネル等を作成し、様々な機会 で企業情報を発信するとともに、中小企業融資制度にかかる信用保証協会保証料の補助率を通常25%から75%に上乗せします。</p> <p>(2)中小事業者技術表彰事業 新規又は独創性の高い技術を持ち、意欲的に事業活動を展開している中小製造事業所を表彰することにより、技術開発意欲の向上等を図ります。</p>	取組 状況	事業結果	<p>■中小製造者の技術表彰制度の実施</p> <p>■表彰事業者数 4社</p> <p>■関係機関や事業者への訪問を通じて募集活動を行い、応募事業者の増加に努めた。 また、受賞事業者のテレビや新聞、雑誌等のメディアへの露出機会を増やすことで、制度自体の認知度向上を図った。</p>	
	成果目標	受賞事業者が広報された件数 3件				
	総合計画 の 位置付け (分野別)	分野	商工・物流	進捗 率等	R 4 . 3 . 31 現在	受賞事業者が広報された件 数 3件 (達成率100%)
		政策	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります	事業 評 価		<p>■表彰事業の認知度向上のため、今後も継続して各支援機関を通じた企業への情報提供に取り組む。</p>
		施策	中小企業の経営基盤・競争力の強化			
	産業振興 プラン 位置付け	分野	商工・物流			
	政策	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります	施策	中小企業の経営基盤・競争力の強化	担当課等	経済局商工部 産業振興課 工業振興係
その他 (特記事項)						

事業 14	ものづくり 基本計画	方針（４）中小企業の経営基盤・競争力の強化		令和３年度		
	事業名	事業14 中小企業等の表彰事業 (3)多様な人材の活躍応援事業所表彰事業		予算額	1,701 千円	
				決算額	174 千円	
	事業概要	<p>本市の誇る、魅力ある中小企業等を様々な観点から表彰し、企業価値の向上につなげます。表彰企業に対しては、リーフレットやパネル等を作成し、様々な機会 で企業情報を発信するとともに、中小企業融資制度にかかる信用保証協会保証料の補助率を通常25%から75%に上乗せします。</p> <p>(3)多様な人材の活躍応援事業所表彰事業 主に女性をはじめとした多様な人材の活躍促進に積極的に取組む企業を表彰することで、市内企業における仕事と生活の両立や多様な人材が活躍できる職場環境の実現を図ります。</p>	取組 状況	事業結果	<ul style="list-style-type: none"> ・企業表彰式の開催 ・いきいきワークスタイル通信の更新 ・表彰企業紹介冊子の作成 	
	成果目標	表彰企業数 5件				
	総合計画 の 位置付け (分野別)	分野	商工・物流	進 捗 率 等	R4.3.31 現在	表彰企業数 5件 8件 (達成率：160%)
		政策	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります			
		施策	中小企業の経営基盤・競争力の強化			
	産業振興 プラン 位置付け	分野	商工・物流	事 業 評 価	次年度 に向けた 改善点 ・ 目標の 未達成 理由等	<ul style="list-style-type: none"> ・募集の広報を手厚くし、表彰企業数を確保する。
		政策	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります			
施策		中小企業の経営基盤・競争力の強化				
担当課等	経済局商工部 商業労政課 雇用労働政策係		その他 (特記事項)			

ものづくり基本計画	方針（４）中小企業の経営基盤・競争力の強化		令和３年度	
事業名	事業15 本市に根ざした産業のブランド化 (1)「ホビーのまち静岡」推進事業	予算額	81,938 千円	
		決算額	79,443 千円	
事業概要	<p>本市に根ざした産業のブランド化を推進することで付加価値を高め、他地域との差別化を図るため、様々な情報発信を実施します。</p> <p>(1)「ホビーのまち静岡」推進事業 本市の地域資源であるホビーを活用し、「ホビーのまち静岡」として市内外に情報発信することで、市のブランド化及び地域経済の活性化を図ります。</p>	取組状況	事業結果	<ul style="list-style-type: none"> ホビー推進協議会静岡が実施するホビーのまち静岡推進事業（静岡ホビースクエアの運営等）に対し、補助金の交付等支援を実施 補助金交付 1件 静岡ホビースクエアの維持管理業務の実施 施設修繕 1件
成果目標	「ホビーのまち静岡」の認知度 30%			
総合計画の位置付け（分野別）	分野	観光・交流	進捗率等	R4.3.31 現在
	政策	静岡のブランド力ある地域資源を活用した観光を推進します		「ホビーのまち静岡」の認知度 30% 54% (達成率：180%)
産業振興プラン位置付け	施策	模型の世界首都・静岡を活かした魅力づくり	事業評価	次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等
	分野	観光・交流		
担当課等	政策	静岡のブランド力ある地域資源を活用した観光を推進します		引き続き、ホビー推進協議会静岡と連携し、新型コロナウイルス感染症の拡大状況等を踏まえ、内容、時期及び対象を見極め、効果的なシティプロモーション推進に取り組んでいく。
	施策	模型の世界首都・静岡を活かした魅力づくり		
	担当課等	経済局商工部 産業振興課 工業振興係	その他 (特記事項)	

事業 15	ものづくり 基本計画	方針（４）中小企業の経営基盤・競争力の強化		令和３年度		
	事業名	事業15 本市に根ざした産業のブランド化 (2)地域産業振興ブランド認証事業	予算額		3,393 千円	
			決算額		1,931 千円	
	事業概要	<p>本市に根ざした産業のブランド化を推進することで付加価値を高め、他地域との差別化を図るため、様々な情報発信を実施します。</p> <p>(2)地域産業振興ブランド認証事業 市民投票で「100年先まで大切に残していきたい逸品」として選ばれた商品を「しずおか葵プレミアムAWARD」として認証し、PRや企業支援を行うことで、本市のシティプロモーションの推進及び地域経済の活性化を図ります。</p>	取組状況	事業結果	<p>■PRイベント実績</p> <p>①WeWork新宿展示（7/14） ②清水エスパルス ホームゲーム（パンフレット配布）（8/9） ③地場産業フェスティバル（8/13） ④ガモールマルシェ 販売会（9/23-26） ⑤清水エスパルス パブリックビューイング（PRブース）（10/24） ⑥産業フェアしずおか2021（11/27-28） ⑦しずチカ PR展示・販売（1/8-31）</p>	
	成果目標	展示販売会等実施回数 7回				
	総合計画 の 位置付け (分野別)	分野	商工・物流	進捗率等	R4.3.31 現在	展示販売会等実施回数 7回 (達成率：100%)
		政策	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります	事業 評価	次年度 に向けた 改善点 ・ 目標の 未達成 理由等	継続性・発展性のある制度となるよう、事業全体のあり方を検討するとともに、過年度認証品のPR及び販売促進支援を実施し、市民へのブランド定着を図る。
		施策	中小企業の経営基盤・競争力の強化			
	産業振興 プラン 位置付け	分野	商工・物流			
		政策	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります			
	施策	中小企業の経営基盤・競争力の強化				
担当課等	経済局商工部 産業振興課 企業立地係		その他 (特記事項)			

事業	ものづくり基本計画	方針（４）中小企業の経営基盤・競争力の強化		令和３年度		
	事業名	事業15 本市に根ざした産業のブランド化 (3)オクシズ「漆-japan-の里」構想事業	予算額	(協議会への負担金) 1,350 千円		
			決算額	(協議会への負担金) 1,350 千円		
	事業概要	<p>本市に根ざした産業のブランド化を推進することで付加価値を高め、他地域との差別化を図るため、様々な情報発信を実施します。</p> <p>(3)オクシズ「漆-japan-の里」構想事業</p> <p>中山間地「オクシズ」に漆の木を植林するとともに、漆を採取したり、塗ったりする職人を育成し、地域の文化財を守る仕組みを築き、「漆-japan-の里」としてのブランド化を図るとともに、伝統工芸技術の継承を図ります。</p>	取組状況	事業結果	<p>(3)官民連携の下、H30年度末に設立した「オクシズ『漆の里』協議会」を主体に、都市部との交流促進、生産振興や6次産業化の推進を通じ、漆の地産地消体制の構築・静岡の漆文化-Shizuoka japan-のブランド化を目指します。</p> <p>【令和3年度実績】※協議会事業実績 （調査事業）試験植樹、成分分析の実施 （付加価値向上事業）商品開発（アクセサリーの試作） （普及啓発・人材育成・情報発信事業）「オクシズ『漆』の学校」の開催、漆掻き道具調査、各種イベントへのブース出展、SNS等での情報発信 ほか</p>	
	成果目標	漆植樹面積 0.36ha				
	15	総合計画の位置付け(分野別)	分野 農林水産	進捗率等 R4.3.31 現在	漆植樹面積 0.36ha	0.47ha (達成率：131%)
		産業振興プラン位置付け	政策 多彩な地域資源をみがきあげオクシズ等の地域の活力強化を推進します	事業評価 次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等	市内産漆の地産地消体制の構築を目指し、試験植樹を含む協議会の各種事業を計画的に展開していくと共に、事業のブランド化を図ることで市民や民間企業等の理解を深め、事業継続のための資金開発、体制づくりに繋げていく必要がある。	
			施策 地域資源を活かした新しい産業の創出			
	担当課等	経済局農林水産部 中山間地振興課 企画係	その他(特記事項)	※H31～R3 農水省山村活性化振興交付金事業		

事業	ものづくり基本計画	方針（４）中小企業の経営基盤・競争力の強化		令和３年度			
	事業名	事業16 地場産品の情報発信・愛用推進		予算額	277,715 千円		
				決算額	285,569 千円		
	事業概要	<p>JR静岡駅構内の駿府楽市と郊外に立地する駿府匠宿において、本市の伝統工芸品を中心とした地場産品の展示や各種PRによる情報発信を行います。</p> <p>なお、駿府匠宿の現状は、来場者数は減少傾向にあり、伝統工芸の情報発信拠点としての役割が弱くなっています。このような状況を改善するため、経営面からのアプローチ、あり方からのアプローチを行い、伝統工芸の振興と持続可能な施設運営を目指しているところです。</p>		取組状況	事業結果	<p>■ JR静岡駅アスティ静岡西館「駿府楽市」内の静岡市特産品展示コーナーにおいて、年間26回の展示会を開催した。</p> <p>・R3来場者数：204,460人</p> <p>・隣接する駿府楽市での工芸品のR3年間売上金額：30,909千円</p> <p>■ 駿府匠宿 来場者数 100,249人 駿府匠宿 創作体験者数 22,512人 駿府匠宿 利用者満足度 95.0%</p> <p>■ 施設のあり方を検討した結果、伝統工芸への直接的な訴求でなく、間接的なアプローチにより創作体験の利用へ繋げる手法により、創作体験者の増加を目指す方針へ転換。そのため、令和3年度からは施設の目標を「来場者数」から「創作体験者数」に変更し、「伝統工芸を身近に感じ、未来に繋ぐ」を目指す施設の姿とした。</p>	
	成果目標	<p>①隣接する駿府楽市での工芸品の年間売上金額 25,947千円</p> <p>②駿府匠宿創作体験者数者数 18,300人</p> <p>③当該施設利用者満足度 90%以上</p>					
	16	総合計画の位置付け(分野別)	分野	商工・物流	進捗率等	R4.3.31 現在	<p>①隣接する駿府楽市での工芸品の年間売上金額 25,947千円</p> <p>①30,909千円 (達成率：119%)</p> <p>②22,512人 (達成率：123%)</p> <p>②駿府匠宿創作体験者数者数 18,300人</p> <p>③95% (達成率：106%)</p> <p>③当該施設利用者満足度 90%以上</p>
			政策	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります		事業評価	<p>次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等</p>
		施策	新市場・販路開拓に対する支援	<p>■ JR静岡駅アスティ静岡西館「駿府楽市」内の静岡市特産品展示コーナーについては、目標の売上金額を大幅に上回ることができたが、展示内容やPR方法が前例踏襲的で、売上金額についてはコロナ情勢に左右されている部分が大い。来場者が安全に鑑賞・購入できる環境を整備するとともに、駿府楽市の経営改善を踏まえた展示コーナー運営方法の再検討が必要。</p> <p>■ 駿府匠宿では、指定管理者が変更となり、民間事業者の創意工夫により、創作体験の内容の見直し、SNSを活用した広報戦略の強化などが功を奏し、創作体験者数、利用者満足度とも目標を上回った。体験利用者の増加により、感染症予防対策の強化が必要であり、指定管理者と協力して、ソフト対策とハード対策の両面から対策を講じ、安定した運営を継続していく。</p>			
	産業振興プラン位置付け	分野	商工・物流	政策	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります	施策	中小企業の経営基盤・競争力の強化
	担当課等	経済局商工部 産業政策課 地場産業係		その他 (特記事項)			

事業	ものづくり基本計画	方針（５）多様な産業人材の確保・育成		令和３年度		
	事業名	事業17 ものづくり体験・学習機会の提供 (1)駿府匠宿での地場産品体験学習事業		予算額	6,879 千円	
				決算額	4,817 千円	
	事業概要	<p>本市ものづくり産業に関連する体験機会や学習機会を提供し、次代を担う人材の育成に取り組みます。</p> <p>(1)駿府匠宿での地場産品体験学習事業 小学生に、ものづくりと地場産品に対する興味を喚起することで地場産業のPRと将来の後継者育成につなげます。</p>		取組状況	事業結果	
	成果目標	申込児童数：3,250人				<p>■申込児童数：2,664人 ■コロナ禍で、学校からの申込件数が減少したため、各学校への本事業の申込案内等の再通知などの体験学習に関する情報共有を通じて、本事業の周知を図った。また、駿府匠宿と受け入れ体制の状況把握や新型コロナウイルス感染症対策を徹底するために連絡を密に行うなど、より多くの児童に体験してもらうための対策を行った。</p>
	17	分野	商工・物流	進捗率等	R4.3.31 現在	
		政策	次世代を担う優れた人材の育成と、多様な人材が活躍する雇用の場の創出を図ります		事業評価	<p>次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等</p> <p>今年度から開館時間や休館日が変わったため、申込時に混乱がないよう調整する。また、未実施校やコロナ前まで参加していた学校に対しても引き続き明確で効率的な周知を行う。</p>
		施策	次代を担う多様な人材の育成			
	産業振興プラン位置付け	分野	商工・物流			
		政策	次世代を担う優れた人材の育成と、多様な人材が活躍する雇用の場の創出を図ります			
	施策	次代を担う多様な人材の育成				
担当課等	経済局商工部 産業政策課 地場産業係		その他 (特記事項)			

事業	ものづくり基本計画	方針（５）多様な産業人材の確保・育成		令和３年度		
	事業名	事業17 ものづくり体験・学習機会の提供 (2)ものづくり教育推進事業	予算額	1,530 千円		
			決算額	681 千円		
	事業概要	<p>本市ものづくり産業に関連する体験機会や学習機会を提供し、次代を担う人材の育成に取り組みます。</p> <p>(2)ものづくり教育推進事業 小学生が、ホビ－産業の歴史等について学び、かつ実際にプラモデルの工作体験をすることによって、ものづくりの楽しさを体験してもらうとともに、プラモデルファンを増やし、将来のホビ－産業を担う人材の育成に寄与します。</p>	取組状況	事業結果	<p>令和3年度から「ものづくりキャリア教育推進事業」として子どもたちのものづくりへの関心を高めるとともに、本市に根付いた産業及びその仕事への理解を深めるため、市内小学校に対し、プラモデル等本市ものづくり産業をテーマにした出前授業を実施。授業を受けた児童の大部分にものづくりについて関心を持ってもらうことができた。</p> <p>応募校12校 実施校10校（653人） ※2校は、新型コロナウイルスの感染状況を考慮し、開催中止</p>	
	成果目標	ものづくりに興味を持った児童 60%				
	17	分野	商工・物流	進捗率等	R4.3.31 現在	ものづくりに興味を持った児童 60% 61.7% (達成率：103%)
		総合計画の位置付け(分野別)	<p>政策 次世代を担う優れた人材の育成と、多様な人材が活躍する雇用の場の創出を図ります</p> <p>施策 次代を担う多様な人材の育成</p>	事業評価	次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等	実施校からの好評をうけ、今後も引き続き、プラモデルをはじめとした静岡市を代表するものづくり産業（缶詰等）について、対象学年に応じ、キャリア教育的観点から学習する内容とものづくりの面白さを学ぶ内容の2つのメニューで実施していく。
		産業振興プラン位置付け	<p>分野 商工・物流</p> <p>政策 次世代を担う優れた人材の育成と、多様な人材が活躍する雇用の場の創出を図ります</p> <p>施策 次代を担う多様な人材の育成</p>			
	担当課等	経済局商工部 産業振興課 工業振興係	その他 (特記事項)			

事業	ものづくり基本計画	方針（５）多様な産業人材の確保・育成		令和３年度		
	事業名	事業17 ものづくり体験・学習機会の提供 (3)こどもクリエイティブタウンでの職場体験等	予算額	110,369のうちの一部 千円		
			決算額	110,369のうちの一部 千円		
	事業概要	本市ものづくり産業に関連する体験機会や学習機会を提供し、次代を担う人材の育成に取り組みます。 (3)こどもクリエイティブタウンでの職場体験等 主に小学生を対象にした仕事体験やものづくり体験を通じて、自主性や創造性を育み、社会・経済の仕組みや地域産業を学びます。	取組状況	事業結果	しごと・ものづくり講座などの各事業において、商店街をはじめとした地元事業者等と連携し、こどもに様々な体験をできる場を提供した。	
	成果目標	年間利用者：100,000人				
	17	分野	商工・物流	進捗率等	R4.3.31 現在	年間利用者：100,000人 13,000人 (達成率：13%)
		総合計画の位置付け(分野別)	政策 次世代を担う優れた人材の育成と、多様な人材が活躍する雇用の場の創出を図ります	事業評価	次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等	施設の利用者の増加に向けて、施設の立地性を活かし、地域（商店街）や企業とのさらなる連携強化を図るとともに、効果的な情報発信に努めていく。 新型コロナウイルス感染症の影響による施設の入館者数制限により、年間利用者数が大幅に減少している。
		施策 次代を担う多様な人材の育成				
産業振興プラン位置付け	分野 商工・物流	政策 次世代を担う優れた人材の育成と、多様な人材が活躍する雇用の場の創出を図ります	施策 次代を担う多様な人材の育成			
担当課等	経済局商工部 産業政策課 新産業係	その他 (特記事項)				

事業 17	ものづくり基本計画	方針（５）多様な産業人材の確保・育成		令和３年度		
	事業名	事業17 ものづくり体験・学習機会の提供 (4)プログラミング教育推進事業	予算額	0千円		
			決算額	0千円		
	事業概要	本市ものづくり産業に関連する体験機会や学習機会を提供し、次代を担う人材の育成に取り組めます。 (4)プログラミング教育推進事業 小・中学校におけるプログラミング教育の実施に向けて、教員向けの研修会を行うなど、準備を進めます。	取組状況	事業結果	■中学校技術・家庭科（技術分野）において、情報の技術の「ネットワークを利用した双方向プログラム」について学ぶ研修を1回実施。	
	成果目標	-				
	総合計画の位置付け(分野別)	分野	子ども・教育	進捗率等	R4.3.31 現在	-
		政策	学校、家庭、地域が連携し、社会を生き抜く力を持った子どもたちを育てます	事業評価	次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等	■令和4年度の中学校技術分野の研修会は内容を変更して実施。
		施策	教育力の向上			
	産業振興プラン位置付け	分野	商工・物流			
		政策	次世代を担う優れた人材の育成と、多様な人材が活躍する雇用の場の創出を図ります			
施策		次代を担う多様な人材の育成				
担当課等	教育委員会事務局 教育センター 情報教育支援室		その他 (特記事項)			

事業 18	ものづくり 基本計画	方針（５）多様な産業人材の確保・育成		令和３年度		
	事業名	事業18 多様な人材の就労に対する支援 (1)若者の就労支援事業	予算額	988 千円		
			決算額	979 千円		
	事業概要	<p>近年、生産年齢人口の減少や少子高齢化が急速に進行しており、中小企業等では深刻な人材不足が顕在化しているため、若者の就労に留まらず、女性や高齢者、障がい者、外国人の活用などを含めて人材確保の問題を検討していきます。</p> <p>(1)若者の就労支援事業 就労支援セミナーの開催や、出張相談会・カウンセリング相談を実施することで、働くことに悩む15歳～39歳までの若者（若年無業者）の就労を支援します。</p>	取組状況	事業結果	<p>■親と若者の就労支援セミナー 開催：2回 参加者：延べ46名</p> <p>■出張相談会 開催：10回 相談件数：延べ3件</p> <p>■臨床心理士による心理カウンセリング 開催：19回 相談件数：延べ85件</p>	
	成果目標	親と若者の就労支援セミナー参加者満足度100%				
	総合計画 の 位置付け (分野別)	分野	商工・物流	進捗率等	R4.3.31 現在	親と若者の就労支援セミナー 参加者満足度100% 100% (達成率：100%)
		政策	次世代を担う優れた人材の育成と、多様な人材が活躍する雇用の場の創出を図ります	事業 評価	次年度 に向けた 改善点 ・ 目標の 未達成 理由等	引き続き、保健福祉長寿局等関係機関と連携し、対象者の掘り起こしに努めていく。
施策		次代を担う多様な人材の育成				
産業振興 プラン 位置付け	分野	商工・物流				
	政策	次世代を担う優れた人材の育成と、多様な人材が活躍する雇用の場の創出を図ります				
	施策	次代を担う多様な人材の育成				
担当課等	経済局商工部 商業労政課 雇用労働政策係		その他 (特記事項)			

事業 18	ものづくり 基本計画	方針（５）多様な産業人材の確保・育成		令和３年度		
	事業名	事業18 多様な人材の就労に対する支援 (2)若者の地元就職・UIターン就職の促進事業	予算額	14,565 千円		
			決算額	14,547 千円		
	事業概要	<p>近年、生産年齢人口の減少や少子高齢化が急速に進行しており、中小企業等では深刻な人材不足が顕在化しているため、若者の就労に留まらず、女性や高齢者、障がい者、外国人の活用などを含めて人材確保の問題を検討していきます。</p> <p>(2)若者の地元就職・UIターン就職の促進事業 地元就職並びに、UIターンを志す若者をはじめ、市内企業の情報が行き届いていない若者に対する課題解決を図ることを目的として、若者就活応援サイト「しずまっち」等の様々なツールを活用し、若者が市内企業への就職を将来の選択肢として捉えることができるよう取り組みを推し進めます。</p>	取組状況	事業結果	<p>①交流会等の実施回数 6回 ②就職支援情報誌「静岡で働こう。2021」令和3年12月1日約33,000部発刊 ③若者就活応援サイト「しずまっち」令和2年度閲覧数280,692件 ④高校生向けキャリア形成支援プログラム 実施校数延べ12校</p>	
	成果目標	<p>①市内企業への就職関心度94% ②将来の選択肢が広がった生徒の割合96%</p>				
	総合計画の位置付け(分野別)	分野	商工・物流	進捗率等	R4.3.31 現在	<p>①市内企業への就職関心度94% (達成率：102%) ②将来の選択肢が広がった生徒の割合96% (達成率：102%)</p>
		政策	次世代を担う優れた人材の育成と、多様な人材が活躍する雇用の場の創出を図ります	事業評価		<p>次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等</p> <p>引き続き、早期からのキャリア形成に取り組むとともに、しずまっち等を活用しながら、若者と企業が相互交流できる機会を創出し、市内企業への関心を高められるよう努める。</p>
	施策	若者や女性、高齢者、障がい者の雇用機会の創出				
	産業振興プラン位置付け	分野	商工・物流			
		政策	次世代を担う優れた人材の育成と、多様な人材が活躍する雇用の場の創出を図ります			
担当課等	経済局商工部 商業労政課 雇用労働政策係		その他 (特記事項)			

ものづくり基本計画		方針（５）多様な産業人材の確保・育成		令和３年度	
事業名	事業18 多様な人材の就労に対する支援 (3)企業OB人材等の活用【再掲】	予算額	1,900 千円		
		決算額	1,673 千円		
事業概要	<p>近年、生産年齢人口の減少や少子高齢化が急速に進行しており、中小企業等では深刻な人材不足が顕在化しているため、若者の就労に留まらず、女性や高齢者、障がい者、外国人の活用などを含めて人材確保の問題を検討していきます。</p> <p>(3)企業OB人材等の活用【再掲】 企業と企業OB人材等とのマッチングの機会を提供することで、企業OB人材等が持つ知識・経験・ノウハウ等を活用し、企業が持つ様々な経営課題の解決を図る取組を推し進めます。</p>	取組状況	事業結果	<p>■新現役交流会の開催 経営課題を抱える中小企業と、専門的な経験・知識を有する企業OB等（＝新現役）とのマッチングを目的とした交流会を開催した。</p> <p>・事業名：第4回 静岡市新現役交流会 ・日時：令和3年8月25日（水）13:00~17:30 ・場所：しずおか焼津信用金庫2階大会議室 静岡信用金庫研修センター大会議室</p> <p>・参加企業数：21社 ・参加新現役数：75名 ・マッチング率：12社/20社≒60.0%</p>	
成果目標	マッチング率 50%（参加企業のうち、人材の支援を受け入れた企業の割合）				
18	分野	商工・物流	進捗率等	R4.3.31 現在	マッチング率 50%（参加企業のうち、人材の支援を受け入れた企業の割合） 60% (達成率：120%)
	総合計画の位置付け(分野別)	政策			
		施策			
	産業振興プラン位置付け	分野	商工・物流	事業評価	次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等
	政策	世界・全国に挑戦する中小企業の振興を図ります			
	施策	中小企業の経営基盤・競争力の強化			
担当課等	経済局商工部 産業振興課 工業振興係		その他 (特記事項)		

事業	ものづくり基本計画	方針（５）多様な産業人材の確保・育成		令和３年度			
	事業名	事業18 多様な人材の就労に対する支援 (4)高齢者就労促進事業	予算額	30,000 千円			
			決算額	30,000 千円			
	事業概要	<p>近年、生産年齢人口の減少や少子高齢化が急速に進行しており、中小企業等では深刻な人材不足が顕在化しているため、若者の就労に留まらず、女性や高齢者、障がい者、外国人の活用などを含めて人材確保の問題を検討していきます。</p> <p>(4)高齢者就労促進事業 高齢者向けの就労相談窓口を新たに設置するなど、多くの元気な高齢者が、健康長寿で地域や経済において活躍できる環境を整備します。</p>	取組状況	事業結果	<p>■行政、経済界、福祉団体等と官民連携して、令和元年6月静岡庁舎2階にオープンしたシニア向け就労サポート窓口「NEXTワークしずおか」を中心に、個別相談、求人開拓等に取り組んだ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・窓口での個別相談件数 延974件 ・訪問企業数 120社 ・シルバー人材センター新規会員登録者数 108名 ・窓口による事業利用満足度 99.0% ・窓口認知度 29.9% 		
	成果目標	高齢求職者の雇用・就業数 115名					
	18	総合計画の位置付け(分野別)	分野	商工・物流	進捗率等	R4.3.31 現在	高齢求職者の雇用・就業数 123名 115名 (達成率：107%)
			政策	次世代を担う優れた人材の育成と、多様な人材が活躍する雇用の場の創出を図ります	事業評価	次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナウイルス感染症の影響でシニア向け求人数が少ない状況が続いているが、目標達成に向けて求人開拓を進める必要がある。そのため、コロナ禍においてもハローワーク等で求人募集があった企業等に対し、ダイレクトメールでシニアの雇用意向に関するアンケートを送付し、その後の訪問を重ね、1件1件開拓を進めていく。 ・R1～R3に実施した厚労省モデル事業「生涯現役促進地域連携事業」が終了したため、R4～R6の「生涯現役地域づくり環境整備事業」の採択を目指す。
		施策	若者や女性、高齢者、障がい者などの雇用機会の創出				
	産業振興プラン位置付け	分野	商工・物流	事業評価	次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナウイルス感染症の影響でシニア向け求人数が少ない状況が続いているが、目標達成に向けて求人開拓を進める必要がある。そのため、コロナ禍においてもハローワーク等で求人募集があった企業等に対し、ダイレクトメールでシニアの雇用意向に関するアンケートを送付し、その後の訪問を重ね、1件1件開拓を進めていく。 ・R1～R3に実施した厚労省モデル事業「生涯現役促進地域連携事業」が終了したため、R4～R6の「生涯現役地域づくり環境整備事業」の採択を目指す。 	
			政策				次世代を担う優れた人材の育成と、多様な人材が活躍する雇用の場の創出を図ります
施策		若者や女性、高齢者、障がい者などの雇用機会の創出					
担当課等	保健福祉長寿局 福祉総務課 生涯活躍推進室		その他 (特記事項)				

事業	ものづくり基本計画	方針（５）多様な産業人材の確保・育成		令和３年度	
	事業名	事業18 多様な人材の就労に対する支援 (5)女性活躍ブランド認定事業	予算額	390 千円	
			決算額	328 千円	
	事業概要	<p>近年、生産年齢人口の減少や少子高齢化が急速に進行しており、中小企業等では深刻な人材不足が顕在化しているため、若者の就労に留まらず、女性や高齢者、障がい者、外国人の活用などを含めて人材確保の問題を検討していきます。</p> <p>(5)女性活躍ブランド認定事業 企業等において女性が企画・開発した商品等のうち、先駆性の高い優れたものを女性活躍ブランドとして認定し、女性活躍の好事例として広く情報発信することで、女性のモチベーションアップや周辺企業への女性活躍の取組波及等、女性の活躍推進を図ります。</p>	取組状況	事業結果	<p>■認定件数：4件</p> <p>■情報発信実績： （１）イベント出展・展示 ・庁内外における展示（計4回） （２）各種メディア ・テレビや新聞、HP等様々な報道手段による「見える化」 ・認定商品紹介冊子の作成、配布</p>
	成果目標	—			
	18	総合計画の位置付け(分野別)	分野	商工・物流	進捗率等
政策			次世代を担う優れた人材の育成と、多様な人材が活躍する雇用の場の創出を図ります	事業評価	次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等
施策			良質な就労環境の創出		
産業振興プラン位置付け	位置付け	分野	商工・物流	事業評価	令和３年度に引き続き、令和４年度も新型コロナウイルス感染症の影響により各種イベントの延期や中止が予想されていることから、その他のPR方法の充実を模索していく。
		政策	次世代を担う優れた人材の育成と、多様な人材が活躍する雇用の場の創出を図ります		
		施策	良質な就労環境の創出		
担当課等	市民局 男女共同参画課 男女共同参画係	その他 (特記事項)			

事業	ものづくり基本計画	方針（５）多様な産業人材の確保・育成		令和３年度		
	事業名	事業18 多様な人材の就労に対する支援 (6)首都圏の女子学生を対象とした就労支援		予算額	- 千円	
				決算額	- 千円	
	事業概要	<p>近年、生産年齢人口の減少や少子高齢化が急速に進行しており、中小企業等では深刻な人材不足が顕在化しているため、若者の就労に留まらず、女性や高齢者、障がい者、外国人の活用などを含めて人材確保の問題を検討していきます。</p> <p>(6)首都圏の女子学生を対象とした就労支援 首都圏へ進学した女子学生を対象に、静岡市内で活躍する女性との交流会を開催し、市内での就職を促進します。</p>		取組状況	事業結果 ■ 1 回開催 オンライン開催（当日参加者 県内外大学生 1～3年生 6人）	
	成果目標	就職関心度90%以上				
	18	総合計画の位置付け(分野別)	分野	商工・物流	進捗率等	R4.3.31 現在
政策			次世代を担う優れた人材の育成と、多様な人材が活躍する雇用の場の創出を図ります			
施策		若者や女性、高齢者、障がい者の雇用機会の創出	事業評価	次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等		
産業振興プラン位置付け		分野		商工・物流		
	政策	次世代を担う優れた人材の育成と、多様な人材が活躍する雇用の場の創出を図ります				
施策	若者や女性、高齢者、障がい者の雇用機会の創出					
担当課等	経済局商工部 商業労政課 雇用労働政策係		その他 (特記事項)			

事業	ものづくり基本計画	方針（５）多様な産業人材の確保・育成		令和３年度	
	事業名	事業18 多様な人材の就労に対する支援 (7)働き方改革の実現に向けた環境整備の推進	予算額	1,035 千円	
			決算額	999 千円	
	事業概要	<p>近年、生産年齢人口の減少や少子高齢化が急速に進行しており、中小企業等では深刻な人材不足が顕在化しているため、若者の就労に留まらず、女性や高齢者、障がい者、外国人の活用などを含めて人材確保の問題を検討していきます。</p> <p>(7)働き方改革の実現に向けた環境整備の推進 働き方改革に取組む企業ロールモデルの構築・事例発信や、ダイバーシティ経営推進セミナーの開催等により、市内企業における仕事と生活の両立や多様な人材が活躍できる職場環境の実現を図ります。</p>	取組状況	事業結果	<p><ダイバーシティ経営推進セミナー> ■実施回数 3 回 管理職向け 1 回（参加者延べ22名） 従業員向け 2 回（参加者延べ50名）</p>
	成果目標	ダイバーシティに取り組むきっかけとなった企業割合80%以上			
	18	総合計画の位置付け(分野別)	<p>分野 商工・物流</p> <p>政策 次世代を担う優れた人材の育成と、多様な人材が活躍する雇用の場の創出を図ります</p> <p>施策 良質な就労環境の創出</p>	進捗率等	R 4 . 3 . 31 現在
	産業振興プラン位置付け	<p>分野 商工・物流</p> <p>政策 次世代を担う優れた人材の育成と、多様な人材が活躍する雇用の場の創出を図ります</p> <p>施策 良質な就労環境の創出</p>	事業評価	<p>次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等</p> <p>参加者の後追い調査ができるやり方を模索する。</p>	
	担当課等	経済局商工部 商業労政課 雇用労働政策係	その他(特記事項)		

事業	ものづくり基本計画	方針（５）多様な産業人材の確保・育成		令和３年度			
	事業名	事業19 若手職人の育成事業	予算額	9,060 千円			
			決算額	7,742 千円			
	事業概要	<p>地場産業界の後継者確保・育成及び新規就業者の定着を図るため、「クラフトマンサポート事業」として財政的な支援を行います。</p> <p>具体的には、短期現場実習、長期現場実習に対する助成に加え、長期現場実習を修了した者を雇用した事業主に対して雇用奨励金を交付する「雇用奨励金交付事業」、新たに職業人として独立した者を対象に建物の賃借料等を補助する「独立支援補助金交付事業」を実施します。</p>	取組状況	事業結果	<p>【R3実施状況】</p> <p>①現場実習短期支援事業 新規6名 ②現場実習長期支援事業 新規3名 継続4名 ③独立支援事業 新規2名 継続1名 ④雇用奨励金 0名</p> <p>・長期支援については、新規3名を含めた7名が利用し、指導者の下、着実に技術を身につけている。 ・短期支援の新規6名を開始した。うち5名は、期間中の経過が良好のため長期支援に移行予定。うち1名は指導者とのマッチング不良により、支援を途中断念した。 ・独立支援は、例年利用者0人が続いていた中、R3年度は3名の利用があった。</p>		
	成果目標	<p>新規制度利用者数</p> <p>①長期支援4人 ②独立支援2人</p>					
	19	分野	商工・物流	進捗率等	R4.3.31 現在	<p>新規制度利用者数</p> <p>①長期支援4人 ②独立支援2人</p>	<p>新規制度利用者数</p> <p>①長期支援3人（達成率：75%） ②独立支援2人（達成率：100%）</p>
		総合計画の位置付け（分野別）	<p>政策</p> <p>次世代を担う優れた人材の育成と、多様な人材が活躍する雇用の場の創出を図ります</p>	事業評価	<p>次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等</p>	<p>①実習者の途中挫折を減らすフォローが必要。実習者・指導者1人1人に対して個別に対応を行っていく。 ②手続きの簡素化など、申請者の負担を減らす取り組みが必要。</p>	
			<p>施策</p> <p>次代を担う多様な人材の育成</p>				<p>クラフトマンサポート制度は設立から20年以上経過しているため、業界の現状と乖離している部分が多く、制度の根本的刷新に向けて整理が必要。</p>
	産業振興プラン位置付け	<p>分野</p> <p>商工・物流</p> <p>政策</p> <p>次世代を担う優れた人材の育成と、多様な人材が活躍する雇用の場の創出を図ります</p> <p>施策</p> <p>次代を担う多様な人材の育成</p>					
	担当課等	経済局商工部 産業政策課 地場産業係		その他（特記事項）			

事業 20	ものづくり 基本計画	方針（５）多様な産業人材の確保・育成		令和３年度		
	事業名	事業20 働き方改革の実現に向けた環境整備の推進	予算額		1,035 千円	
			決算額		999 千円	
	事業概要	働き方改革に取り組む企業ロールモデルの構築・事例発信や、ダイバーシティ経営推進セミナーの開催等、市内企業における仕事と生活の両立や、女性をはじめとした多様な人材が活躍できる職場環境の実現を図ります。	取組状況	事業結果	<ダイバーシティ経営推進セミナー> ■実施回数 3 回 管理職向け 1 回（参加者延べ22名） 従業員向け 2 回（参加者延べ50名）	
	成果目標	ダイバーシティに取り組むきっかけとなった企業割合80%以上				
	総合計画 の 位置付け (分野別)	分野	商工・物流	進捗率等	R 4 . 3 . 31 現在	ダイバーシティに取り組むきっかけとなった企業割合80%以上 93% (達成率：116%)
		政策	次世代を担う優れた人材の育成と、多様な人材が活躍する雇用の場の創出を図ります	事業評価	次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等	参加者の後追い調査ができるやり方を模索する。
施策		良質な就労環境の創出				
産業振興 プラン 位置付け	分野	商工・物流				
	政策	次世代を担う優れた人材の育成と、多様な人材が活躍する雇用の場の創出を図ります				
	施策	良質な就労環境の創出				
担当課等	経済局商工部 商業労政課 雇用労働政策係		その他 (特記事項)			

ものづくり基本計画		方針（６）伝統工芸技術の保存・継承		令和３年度		
事業名	事業21	予算額	4,060 千円			
	伝統工芸技術の保存・継承 (1)伝統工芸技術アーカイブ事業		決算額	2,796 千円		
事業概要	<p>熟練職人の高齢化や後継者不足により、今後存続が危ぶまれる伝統工芸技術について、保存・継承の取り組みを実施します。</p> <p>(1)伝統工芸技術アーカイブ事業 消失の危機に直面する熟練職人技術を抽出し、映像化や技術工程のサンプル化等により文化として保存し、後世への継承を図ります。</p>	取組状況	事業結果	<p>■業界調整により保存対象となる2技術を決定しうち下記を保存し、また高い技術による工芸作品を購入することでアーカイブを実施した</p> <p>技術保持職人による技術工程の映像制作： 1本（Blu-Ray 10枚、DVD20枚） 工程サンプル制作：1セット アーカイブ対象技術：駿河張塗 技術保持者：丸山宗孝氏</p> <p>購入保存工芸品： 木工指物、駿河漆器、駿河塗下駄、駿河蒔絵、駿河和染静岡挽物等 計10点</p>		
	成果目標			映像化本数：2本		
21	分野	商工・物流	進捗率等 R4.3.31 現在	映像化本数：2本 1本 (達成率：50%)		
	政策	次世代を担う優れた人材の育成と、多様な人材が活躍する雇用の場の創出を図ります		事業評価 次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等	<p>■技術保持者の健康状態は今後も確実とはいえないため期間を置かず確実な保存を図っていく必要がある。また各業界により後継者数や職人数など事情が異なるため、事情を把握しつつ調整を行っていく。更にアーカイブ技術は各職人個人の技術でもあり安易な公開はできないため、技術保持者との協議もしっかりと行う必要がある。 技術保存を2件予定していたがうち1件は技術保持者の体調不良により実現できなかった。</p>	
	施策	次代を担う多様な人材の育成				
産業振興プラン位置付け	分野 商工・物流	政策 次世代を担う優れた人材の育成と、多様な人材が活躍する雇用の場の創出を図ります	施策 次代を担う多様な人材の育成			
担当課等	経済局商工部 産業政策課 地場産業係	その他 (特記事項)				

事業	ものづくり基本計画	方針（６）伝統工芸技術の保存・継承		令和３年度		
	事業名	事業21 伝統工芸技術の保存・継承 (2)伝統工芸保存講習会の開催		予算額	1,890 千円	
				決算額	1,453 千円	
	事業概要	<p>熟練職人の高齢化や後継者不足により、今後存続が危ぶまれる伝統工芸技術について、保存・継承の取り組みを実施します。</p> <p>(2)伝統工芸保存講習会の開催 本市の地場産業界の人材の育成や確保を図るため、地元伝統工芸業界の若手職人を対象に、伝統工芸技術の保存・継承・技術練磨等にかかる講習会を実施します。</p>	取組状況	事業結果	<p>■地元熟練職人を講師に、後継者となる若手が受講者となり夜間講習にて開催した 開催部門：木工、拭漆、竹千筋細工、漆器、蒔絵（５部門） 参加者：地元業界従事者 36名 ①木工指物の部：令和3年7月～12月（17日間） （受講者）地元木工業界従事者4名 ②駿河竹千筋細工の部：令和3年9月～12月（11日間） （受講者）地元竹千筋細工業界従事者5名 ③拭漆の部：令和3年10月～12月（10日間） （受講者）地元木工業界従事者等6名 ④漆器の部：令和3年5月～6月（4日間） （受講者）地元漆器業界従事者等12名 ⑤蒔絵の部：令和3年10月～令和4年3月（20日間） （受講者）地元蒔絵漆器業界従事者等9名</p>	
	成果目標	<p>①開催部門：５部門 ②参加者数：38名</p>				
	21	総合計画の位置付け(分野別)	分野 商工・物流	進捗率等 R4.3.31 現在	①開催部門：５部門 ②参加者数：38名	①開催部門：５部門 (達成率：100%) ②参加者数：36名 (達成率：94%)
		産業振興プラン位置付け	政策 次世代を担う優れた人材の育成と、多様な人材が活躍する雇用の場の創出を図ります	事業評価 次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等	講師の高齢化による人材不足は避けがたく、中堅職人の選定を増加していく必要がある。 開催形式上、蜜になりがちな新型コロナ対策は充分にとられたため、今後も必要に応じ同様の対応をとっていく必要がある。 また、高度な技術継承を求める声もあり、より高度なコースも検討していく。	
			施策 次代を担う多様な人材の育成			
	担当課等	経済局商工部 産業政策課 地場産業係		その他 (特記事項)		

事業 21	ものづくり 基本計画	方針（６）伝統工芸技術の保存・継承		令和３年度			
	事業名	事業21 伝統工芸技術の保存・継承 (3)伝統工芸技術秀士の顕彰		予算額	600千円		
				決算額	500千円		
	事業概要	<p>熟練職人の高齢化や後継者不足により、今後存続が危ぶまれる伝統工芸技術について、保存・継承の取り組みを実施します。</p> <p>(3)伝統工芸技術秀士の顕彰 本市の伝統工芸の技術を継承するため優れた技術の保持者を顕彰し、そのPRを行います。</p>		取組 状況	事業結果	<p>■各伝統工芸業界において高度な技術を有し、伝統工芸展等へ積極的に出展し技術研鑽に励む職人は、高齢化等により消失しつつある現実の中、指定を見送ることとした。</p>	
	成果目標	秀士の指定者数：1名					
	総合計画 の 位置付け (分野別)	分野	商工・物流		進捗 率等	R4.3.31 現在	秀士の指定者数：1名 0名 (達成率：0%)
		政策	次世代を担う優れた人材の育成と、多様な人材が活躍する雇用の場の創出を図ります		事業 評価	次年度 に向けた 改善点 ・ 目標の 未達成 理由等	<p>■対象者を広げすぎると指定制度の根幹が曖昧になる危惧があり、安易な拡大には問題がある。今後は中堅職人の中で有望視される職人を模索したいが、それでも人的に限りがあるため、その幅を検討していく必要がある。</p>
		施策	次代を担う多様な人材の育成				
	産業振興 プラン 位置付け	分野	商工・物流		事業 評価	次年度 に向けた 改善点 ・ 目標の 未達成 理由等	<p>■対象者を広げすぎると指定制度の根幹が曖昧になる危惧があり、安易な拡大には問題がある。今後は中堅職人の中で有望視される職人を模索したいが、それでも人的に限りがあるため、その幅を検討していく必要がある。</p>
		政策	次世代を担う優れた人材の育成と、多様な人材が活躍する雇用の場の創出を図ります				
施策		次代を担う多様な人材の育成					
担当課等	経済局商工部 産業政策課 地場産業係		その他 (特記事項)				

事業	ものづくり基本計画	方針（6）伝統工芸技術の保存・継承		令和3年度	
	事業名	事業21 伝統工芸技術の保存・継承 (4)オクシズ「漆-japan-の里」構想事業【再掲】	予算額	(協議会への負担金) 1,350 千円	
			決算額	(協議会への負担金) 1,350 千円	
	事業概要	<p>熟練職人の高齢化や後継者不足により、今後存続が危ぶまれる伝統工芸技術について、保存・継承の取り組みを実施します。</p> <p>(4)オクシズ「漆-japan-の里」構想事業【再掲】 中山間地「オクシズ」に漆の木を植林するとともに、漆を採取したり、塗ったりする職人を育成し、地域の文化財を守る仕組みを築き、「漆-japan-の里」としてのブランド化を図るとともに、伝統工芸技術の継承を図ります。</p>	取組状況	事業結果	<p>(3)官民連携の下、H30年度末に設立した「オクシズ『漆の里』協議会」を主体に、都市部との交流促進、生産振興や6次産業化の推進を通じ、漆の地産地消体制の構築・静岡の漆文化-Shizuoka japan-のブランド化を目指します。</p> <p>【令和3年度実績】※協議会事業実績 (調査事業) 試験植樹、成分分析の実施 (付加価値向上事業) 商品開発 (アクセサリーの試作) (普及啓発・人材育成・情報発信事業) 「オクシズ『漆』の学校」の開催、漆掻き道具調査、各種イベントへのブース出展、SNS等での情報発信 ほか</p>
	成果目標	漆植樹面積 0.36ha			
21	総合計画の位置付け(分野別)	<p>分野 農林水産</p> <p>政策 多彩な地域資源をみがきあげオクシズ等の地域の活力強化を推進します</p> <p>施策 地域資源を活かした新しい産業の創出</p>	進捗率等	R4.3.31 現在	漆植樹面積 0.36ha 0.47ha (達成率：131%)
	産業振興プラン位置付け	<p>分野 農林水産</p> <p>政策 多彩な地域資源をみがきあげオクシズ等の地域の活力強化を推進します</p> <p>施策 地域資源を活かした新しい産業の創出</p>	事業評価	<p>次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等</p>	<p>市内産漆の地産地消体制の構築を目指し、試験植樹を含む協議会の各種事業を計画的に展開していくと共に、事業のブランド化を図ることで市民や民間企業等の理解を深め、事業継続のための資金開発、体制づくりに繋げていく必要がある。</p>
	担当課等	経済局農林水産部 中山間地振興課 企画係	その他(特記事項)		※H31～R3 農水省山村活性化振興交付金事業

事業	ものづくり基本計画	方針（６）伝統工芸技術の保存・継承		令和３年度		
	事業名	事業21 伝統工芸技術の保存・継承 (5)地域おこし協力隊による「井川メンバ」の保存・伝承		予算額	((5)地域おこし協力隊配置に要する経費として) 725 千円	
				決算額	((5)地域おこし協力隊配置に要する経費として) 725 千円	
	事業概要	<p>熟練職人の高齢化や後継者不足により、今後存続が危ぶまれる伝統工芸技術について、保存・継承の取り組みを実施します。</p> <p>(5)地域おこし協力隊による「井川メンバ」の保存・伝承 「地域おこし協力隊」は、その地域に居住してもらいながら、最長3年間隊員として地域おこし活動に取り組んでもらうものです。井川地区の活動テーマは「井川メンバの保存・伝承」であり、現在市内に1人しかいない職人の技術を継承するための取組を実施します。</p>		取組状況	<p>事業結果</p> <p>(1)「オクシズ「漆の里」構想事業※として、かつて市内で行われてきた漆採取技術の保存・継承のため、市内唯一の漆掻き職人であった高橋康夫氏が使用していた漆掻き道具の調査を実施した。 ※事業21(4)オクシズ「漆-japan-の里」構想事業</p> <p>(5) 令和3年4月末で、任期の3年が終了。メンバ技術の習得に向け取り組んだものの、隊員本人の希望により、井川地区への定着には至らなかった。</p>	
	成果目標					
	21	総合計画の位置付け(分野別)	分野	商工・物流	進捗率等	R4.3.31 現在
			政策	次世代を担う優れた人材の育成と、多様な人材が活躍する雇用の場の創出を図ります	事業評価	<p>次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等</p> <p>(1) 調査の成果を多くの方々に知っていただくため、発表の機会を設け、存続の危機にある市内の漆掻き技術の保存・継承、及び協議会の取組みの周知を図る。</p> <p>(5) 協力隊任期終了後の定着につながるよう、支援を強化していく。</p>
		施策	次代を担う多様な人材の育成			
	産業振興プラン位置付け	分野	商工・物流			
		政策	次世代を担う優れた人材の育成と、多様な人材が活躍する雇用の場の創出を図ります			
	施策	次代を担う多様な人材の育成				
担当課等	経済局農林水産部 中山間地振興課 企画係		その他(特記事項)	※(5)地域おこし協力隊隊員任期はR3年度4月末まで。		